

「2018年卒学生の就職活動の実態に関する調査」

公益社団法人全国求人情報協会の専門部会である「新卒等若年雇用部会」は、調査・研究活動の一環で、民間企業・団体への就職活動を経験した全国の大学4年生・大学院2年生を対象とするアンケート調査を実施し2018年卒学生の就職活動実態をまとめましたので、ご報告します。

TOPICS

- 卒業後の進路が確定した大学生/大学院生は9割半ばで、前年よりも高い。(P2)
- 就職先確定者の就職先への満足度は、大学生/大学院生ともに9割前後で、前年同様に高い。(P3)
- 就職先確定者が就職予定先を最初に認知した経路は、大学生/大学院生ともに「民間就職情報会社の情報サイト・情報誌・イベント」が4割前後で、最も高い。(P26)
- 大学生の志望勤務地は、都市部(首都圏・非首都圏)派が5割半ばで前年より増加したが、地方派は1割半ばで前年より減少した。(P31)
- 大学生の志望従業員規模は、大手派が5割半ばで前年より増加したが、中堅・中小派は2割強で前年より減少した。(P35)

CONTENTS

①卒業後の進路確定状況・・・・・・・・・・・・・ 2	⑦就職予定先に関する情報源・・・・・・・・・・・・・ 24
②就職予定先への満足度、評価・・・・・・・・・・・・・ 3	⑧就職先を選ぶ際の重視点・・・・・・・・・・・・・ 27
③就職予定先の企業状況・・・・・・・・・・・・・ 6	⑨在学中に実施したこと・・・・・・・・・・・・・ 29
④就職活動の開始時期、終了時期、実施期間・・・・・・ 11	⑩就職活動による各活動への支障状況・・・・・・・・・・ 30
⑤就職活動の各プロセスの活動量・・・・・・・・・・・・・ 15	⑪勤務地の志向・・・・・・・・・・・・・ 31
⑥知りたかった情報、知ることができた情報・・・・・・ 20	⑫従業員規模の志向・・・・・・・・・・・・・ 35

●調査の概要

- 1) 調査目的: 大学生や大学院生の就職活動の実態を把握し、関係各位の参考に供する。
- 2) 調査対象: 民間企業・団体への就職活動を在学中に経験した(*)全国の大学4年生・大学院2年生 956名 *就職活動の経験者を、プレエントリー(資料・採用情報の請求)、説明会、書類選考、対面選考のいずれか1つ以上の経験者と定義した。当該の条件を満たす904名で集計を実施
- 3) 調査時期: 2018年3月17日～28日
- 4) 調査方法: インターネット調査(調査実施機関:株式会社マクロミル)ーマクロミル社のモニターにスクリーニング調査を行って対象者を抽出し、学校種別、性別、専攻系統(文理)の構成比が母集団に近づくよう、「文部科学省学校基本調査」の数値を参照し、ウェイトバック集計を行った。

◀地域区分の内訳▶

- 関東＝ 東京都、千葉県、神奈川県、埼玉県、茨城県、栃木県、群馬県
- 中部＝ 静岡県、愛知県、岐阜県、山梨県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県
- 近畿＝ 京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、三重県、滋賀県
- その他地域・計＝「関東」「中部」「近畿」以外の地域

<回収数>

大学生	779
文系	523
国公立	107
私立	416
理系	256
国公立	25
私立	231
大学院生	125

※ウェイトバック集計を行っているため、N数の内訳を足し合わせても合計と一致しない場合があります。

お問い合わせ先／公益社団法人全国求人情報協会 業務部・佐藤日出男 Tel03-3288-0881 cyousa@zenkyukyo.or.jp
 調査リリース資料は、こちらからダウンロードできます。
<https://www.zenkyukyo.or.jp/wp/wp-content/uploads/2018/06/20180629.pdf>

①卒業後の進路確定状況

**民間企業・団体への就職活動を経験した大学生/大学院生の9割半ばが3月時点で進路を確定。
大学生の文理別、地域別ともに、いずれも9割超が進路を確定。**

民間企業・団体への就職活動経験者は、調査を実施した3月時点では、大学生・大学院生ともに9割半ばが卒業後の進路を確定している。属性別にみると、大学生の文理別、地域別はいずれも9割超となっている。

2017年調査と比べると、大学生・大学院生ともに進路確定者・計が増加し、9割半ばとなっている。(図表1)

図表1 卒業後の進路確定状況(単一回答、単位=%)

	n=	民間企業・団体に就職する	民間企業・団体以外(公務員、教員など)に就職する	就職確定者・計	起業する	大学院などへ進学する	留学する	パート、アルバイトなどの臨時的収入を目的とした仕事に就く	留年するので、卒業しない	その他	進路確定者・計	まだ進路が確定していない
大学生	779	80.6 (-1.3)	6.6 (1.2)	87.1 (-0.1)	0.4 (0.4)	3.4 (-0.1)	0.3 (0.3)	2.8 (0.8)	2.3 (1.1)	0.2 (-0.4)	96.5 (2.0)	3.5 (-2.0)
文系	523	83.0 (-1.6)	4.9 (-0.8)	87.9 (-2.4)	0.6 (0.6)	0.8 (-0.4)	0.5 (0.5)	2.8 (1.1)	2.8 (1.5)	0.3 (-0.1)	95.8 (0.7)	4.2 (-0.7)
国公立	107	83.5 (9.5)	6.4 (-3.9)	89.9 (5.6)	- (-)	0.6 (-1.5)	- (-)	3.2 (0.5)	2.8 (1.1)	0.9 (-0.2)	97.4 (5.5)	2.6 (-5.5)
私立	416	82.9 (-4.3)	4.5 (-0.1)	87.4 (-4.4)	0.8 (0.8)	0.9 (-0.1)	0.6 (0.6)	2.7 (1.3)	2.9 (1.6)	0.2 (-0.1)	95.3 (-0.5)	4.7 (0.5)
理系	256	75.5 (-0.7)	9.9 (5.2)	85.4 (4.5)	- (-)	8.7 (0.5)	- (-)	2.7 (0.1)	1.2 (0.4)	- (-0.9)	98.1 (4.6)	1.9 (-4.6)
国公立	25	77.4 (9.8)	10.0 (-0.6)	87.4 (9.2)	- (-)	10.0 (-5.6)	- (-)	2.5 (2.5)	- (-1.9)	- (-)	100.0 (4.3)	- (-4.3)
私立	231	75.3 (-5.0)	9.9 (8.0)	85.2 (3.0)	- (-)	8.6 (3.9)	- (-)	2.7 (-1.1)	1.4 (1.0)	- (-1.4)	97.8 (5.5)	2.2 (-5.5)
関東	405	80.0 (-0.3)	7.0 (0.8)	87.0 (0.5)	0.8 (0.8)	3.8 (1.5)	0.2 (0.2)	3.3 (1.3)	2.0 (0.8)	0.2 (-0.0)	97.2 (5.1)	2.8 (-5.1)
中部	120	81.1 (-5.9)	8.1 (2.1)	89.2 (-3.8)	- (-)	- (-3.8)	1.4 (1.4)	2.5 (1.9)	3.0 (2.3)	- (-)	96.1 (-1.9)	3.9 (1.9)
近畿	162	75.9 (-7.6)	6.0 (0.9)	82.0 (-6.6)	- (-)	6.5 (0.8)	- (-)	3.1 (1.6)	3.6 (2.9)	0.6 (0.3)	95.8 (-1.0)	4.2 (1.0)
その他	93	90.7 (10.3)	3.5 (-0.7)	94.2 (9.7)	- (-)	0.7 (-2.5)	- (-)	- (-3.0)	0.5 (-1.4)	- (-1.8)	95.4 (1.0)	4.6 (-1.0)
大学院生	125	83.2 (0.3)	6.4 (1.9)	89.6 (2.2)	- (-)	3.2 (-0.4)	- (-)	1.6 (0.7)	0.8 (-2.8)	1.6 (0.7)	96.8 (0.4)	3.2 (-0.4)

* カッコ内は2017年とのスコア差を掲載。

* 2017年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

(回答者数が30未満のスコアを除く) * 回答者数が30未満はグレーの文字色にした。

②就職予定先への満足度、評価

就職先確定者の就職先への満足度は、大学生、大学院生ともに9割前後で、引き続き高い水準。

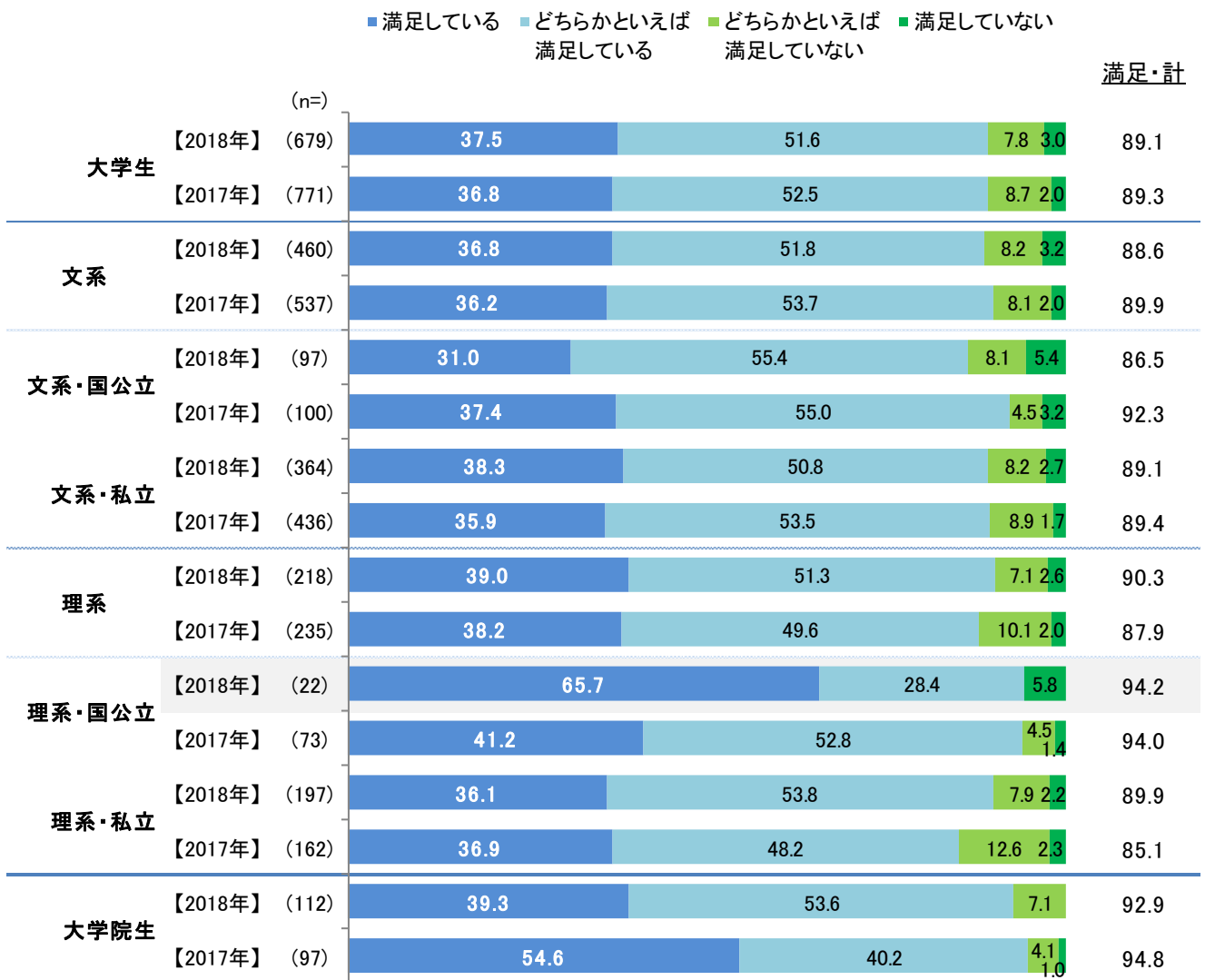
就職確定者の就職先への満足・計(*)は、大学生が約9割、大学院生が9割強となっている。属性別にみると、文系大学生よりも理系大学生の満足・計が高い。

2017年調査と比べると、理系大学生で満足・計が上昇し、私立大学の理系大学生でその傾向が強い。一方、国公立大学の文系大学生では満足・計が低下している。また、大学院生で「満足している」が大きく減少している。

(図表2)

*「満足している」「どちらかといえば満足している」の回答者を合計

図表2 就職確定者の就職予定先への満足度状況(単一回答、単位=%)



※満足・計:「満足している」+「どちらかといえば満足している」

* 回答者数が30未満はグレーの網掛けにした。

②就職予定先への満足度、評価

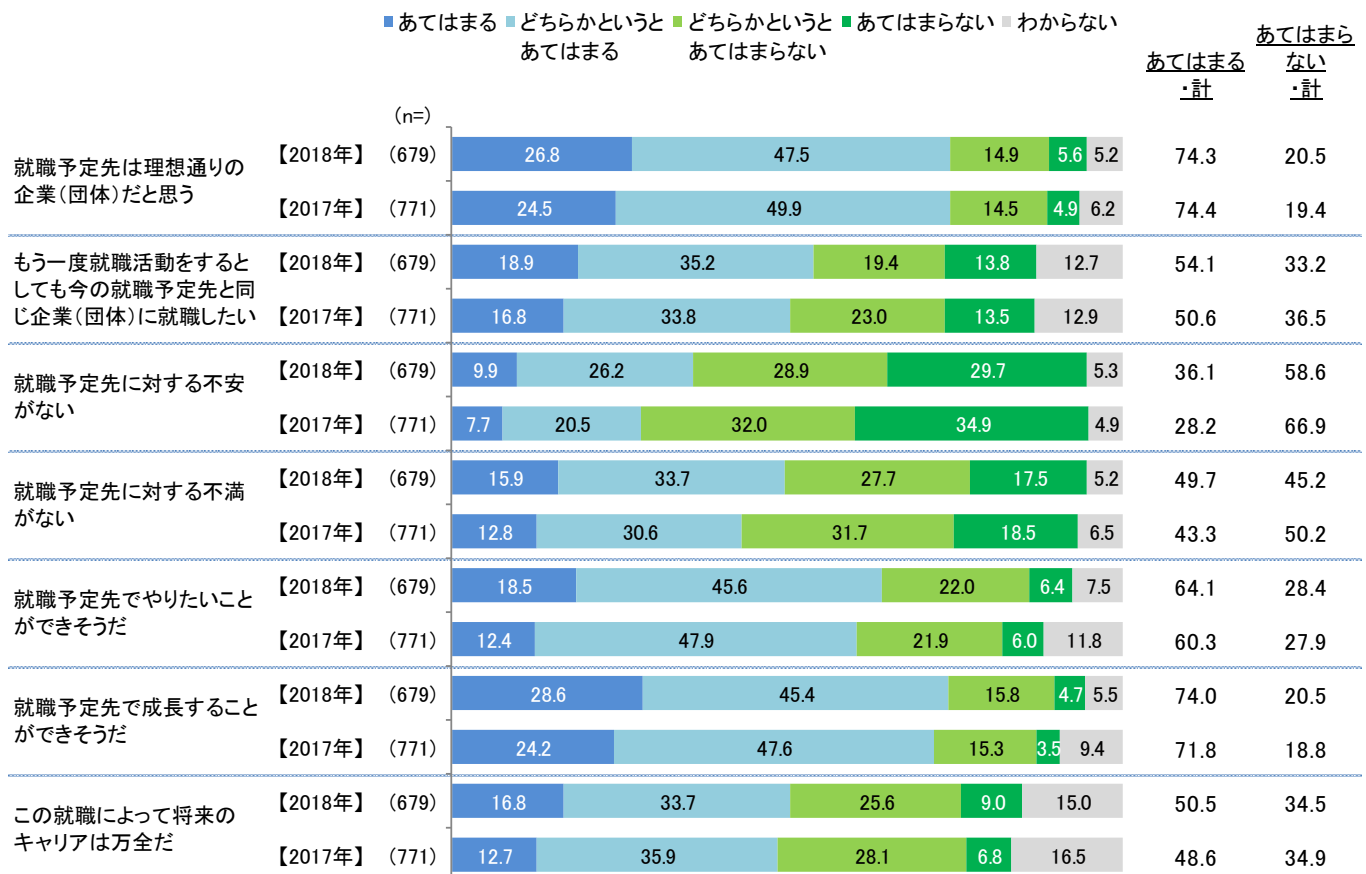
就職予定先の評価は、「理想通りの企業だと思う」「成長することができそうだ」が7割以上。大学生で就職予定先への不安が減少する一方で、大学院生で「やりたいことができそう」が減少。

就職確定者における就職予定先への評価(*)は、大学生・大学院生ともに「就職予定先は理想通りの企業だと思う」「就職予定先で成長することができそうだ」のあてはまる・計は7割以上となっている。「就職予定先に対する不満がない」は大学生よりも大学院生の割合が高い。

2017年調査と比べると、大学生では「就職予定先は理想通りの企業(団体)だと思う」を除くすべての項目であてはまる・計が増加している。一方で、大学院生では「就職予定先に対する不安がない」「就職予定先に対する不満がない」「この就職によって生らのキャリアは万全だ」が増加しているが、その他の項目については減少している。(図表3-1~2)

*「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の回答者を合計

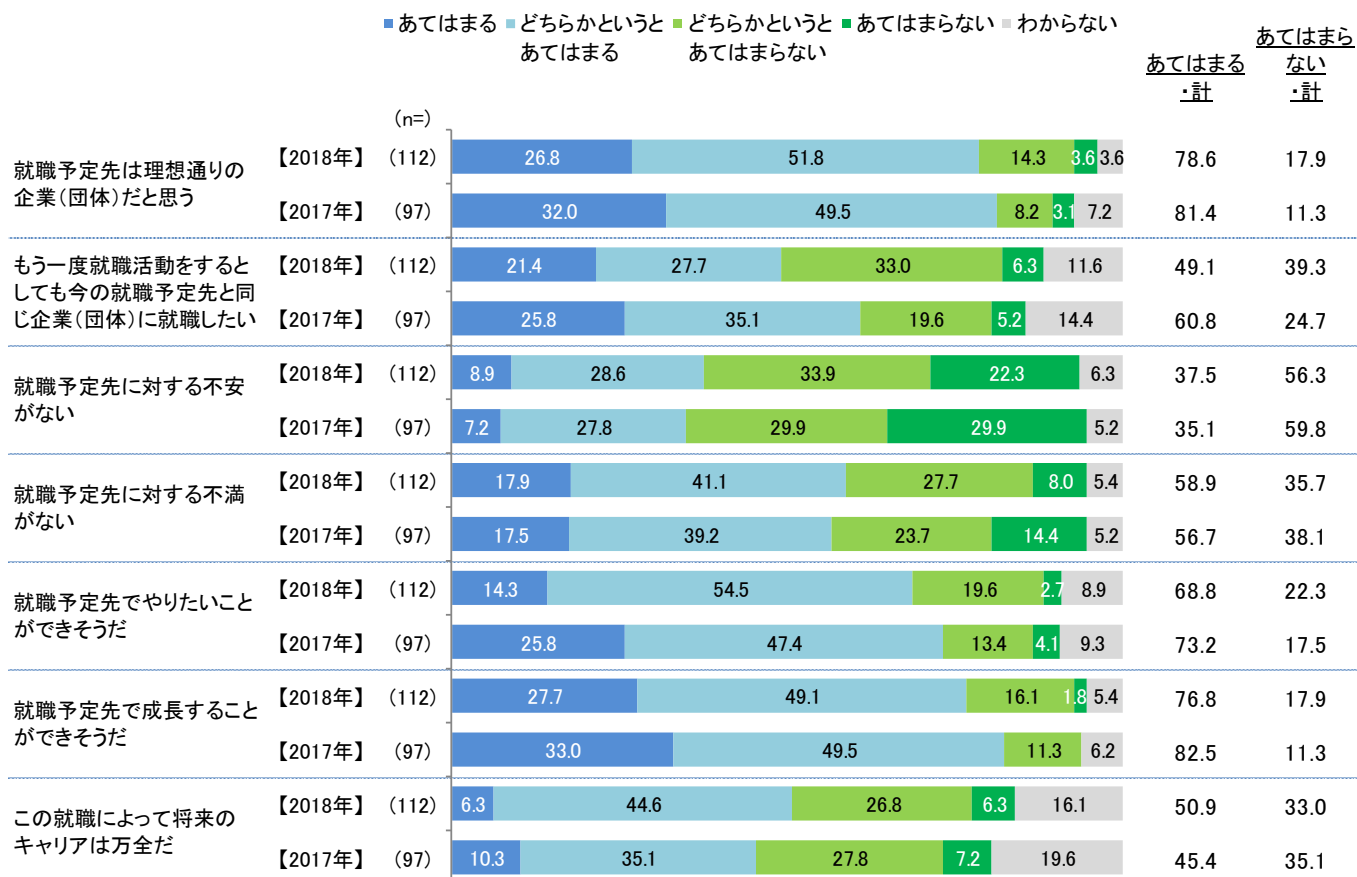
図表3-1 【大学生】就職確定者の就職予定先への評価(単一回答、単位=%)



※あてはまる・計:「あてはまる」+「どちらかというにあてはまる」/あてはまらない・計:「どちらかというにあてはまらない」+「あてはまらない」

②就職予定先への満足度、評価

図表3-2 【大学院生】就職確定者の就職予定先への評価(単一回答、単位=%)



※あてはまる・計:「あてはまる」+「どちらかというにあてはまる」/あてはまらない・計:「どちらかというにあてはまらない」+「あてはまらない」

③就職予定先の企業状況

大学生は「製造業」「情報通信業」「卸売業、小売業」、大学院生は「製造業」「情報通信業」「学術研究、専門・技術サービス業」が上位。

就職確定者における就職予定先の業種は、大学生は「製造業」「情報通信業」「卸売業、小売業」、大学院生は「製造業」「情報通信業」「学術研究、専門・技術サービス業」が上位。属性別にみると、私立大学の文系大学生、関東地域の大学生で「情報通信業」の割合が高い。

2017年調査と比べると、その他地域の大学生で「金融業、保険業」が減少し、「卸売業、小売業」が増加している。(図表4)

図表4 就職確定者の就職予定先の業種(単一回答、単位=%)

n=		農業、林業	漁業	鉱業、採石業、砂利採取業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業、郵便業	卸売業、小売業	金融業、保険業	不動産業、物品賃貸業
大学生	679	0.8 (-0.6)	- (-)	- (-)	5.0 (0.6)	15.5 (2.4)	3.1 (0.9)	13.1 (3.4)	4.8 (-1.5)	12.9 (2.9)	9.0 (-4.7)	2.9 (1.2)
文系	460	0.8 (-0.4)	- (-)	- (-)	2.9 (0.8)	13.6 (2.9)	1.3 (-0.5)	11.8 (4.5)	6.2 (-1.8)	12.7 (0.2)	12.1 (-6.3)	4.0 (1.8)
国公立	97	1.7 (-1.6)	- (-)	- (-)	1.0 (-2.2)	21.0 (10.2)	1.2 (-3.4)	4.6 (-4.4)	5.1 (-1.9)	9.7 (3.3)	12.7 (-9.1)	5.4 (4.8)
私立	364	0.6 (-0.1)	- (-)	- (-)	3.4 (1.6)	11.6 (1.0)	1.3 (0.2)	13.8 (6.8)	6.5 (-1.7)	13.5 (-0.4)	12.0 (-5.7)	3.6 (1.1)
理系	218	0.6 (-1.2)	- (-)	- (-)	9.4 (-0.2)	19.6 (1.0)	6.8 (3.6)	15.7 (0.8)	1.7 (-0.5)	13.4 (9.0)	2.3 (-0.3)	0.6 (-0.2)
国公立	22	- (-2.2)	- (-)	- (-)	- (-7.1)	34.0 (6.0)	8.5 (5.4)	5.8 (-9.4)	- (-1.4)	2.9 (-3.8)	11.5 (7.7)	- (-)
私立	197	0.6 (-1.0)	- (-)	- (-)	10.4 (-0.3)	18.0 (3.7)	6.6 (3.4)	16.8 (2.0)	1.9 (-0.7)	14.5 (11.2)	1.3 (-0.8)	0.6 (-0.4)
関東	352	0.4 (0.2)	- (-)	- (-)	5.4 (0.4)	13.2 (-2.2)	3.3 (1.6)	17.9 (7.9)	5.4 (-1.7)	11.6 (3.2)	9.8 (-3.9)	3.8 (1.3)
中部	107	- (-0.6)	- (-)	- (-)	2.2 (-0.2)	22.2 (9.4)	3.5 (-1.6)	11.0 (1.9)	6.0 (4.2)	6.5 (-12.9)	4.4 (-5.7)	0.6 (-0.1)
近畿	133	1.2 (-1.2)	- (-)	- (-)	3.7 (0.7)	19.3 (5.2)	2.7 (-0.2)	7.1 (-1.2)	3.9 (-3.4)	9.5 (-1.8)	13.5 (-0.2)	3.8 (2.3)
その他	87	2.6 (-0.1)	- (-)	- (-)	8.6 (2.9)	10.9 (2.2)	2.1 (1.5)	5.4 (-5.4)	1.9 (-4.2)	31.5 (25.2)	4.4 (-10.9)	0.5 (-0.8)
大学院生	112	- (-2.1)	- (-)	- (-)	6.3 (6.3)	50.0 (8.8)	2.7 (-3.5)	9.8 (-8.7)	- (-3.1)	1.8 (0.8)	- (-3.1)	- (-)

* カッコ内は2017年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も多い区分を赤太字にした。

* 2017年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。(回答者数が30未満のスコアを除く) * 回答者数が30未満はグレーの文字色にした。

③就職予定先の企業状況

※前ページより続き

n=		学術研究、専門・技術サービス業	宿泊業、飲食サービス業	生活関連サービス業、娯楽業	教育、学習支援業	医療、福祉	複合サービス事業	サービス業（他に分類されないもの）	公務（他に分類されるものを除く）	NPO等団体	その他
大学生	679	3.0 (-0.3)	1.7 (-0.7)	1.2 (-1.7)	3.2 (-0.3)	8.7 (-1.7)	2.0 (-0.1)	5.8 (-1.6)	5.4 (1.2)	0.3 (-0.2)	1.6 (0.7)
文系	460	2.7 (0.3)	2.2 (-0.5)	1.8 (-1.9)	3.7 (-0.7)	4.6 (-3.0)	2.5 (0.1)	8.3 (1.5)	6.0 (2.1)	0.5 (-0.3)	2.2 (0.9)
国公立	97	4.3 (1.1)	2.5 (-0.2)	2.4 (0.5)	3.4 (-2.3)	5.4 (0.3)	2.2 (0.2)	7.6 (3.8)	9.0 (2.0)	0.5 (0.5)	0.5 (-1.4)
私立	364	2.3 (0.1)	2.1 (-0.5)	1.6 (-2.5)	3.7 (-0.3)	4.4 (-3.8)	2.6 (0.1)	8.5 (1.0)	5.2 (2.0)	0.5 (-0.5)	2.7 (1.5)
理系	218	3.7 (-1.8)	0.9 (-1.2)	- (-1.0)	2.3 (0.6)	17.2 (0.5)	0.8 (-0.6)	0.6 (-8.2)	4.2 (-0.7)	- (-)	0.3 (0.3)
国公立	22	- (-4.3)	- (-)	- (-0.7)	- (-0.7)	25.8 (10.7)	8.5 (7.8)	- (-1.7)	- (-9.3)	- (-)	2.9 (2.9)
私立	197	4.1 (-1.9)	1.0 (-2.0)	- (-1.1)	2.5 (0.4)	16.3 (-1.1)	- (-1.8)	0.6 (-11.4)	4.7 (1.7)	- (-)	- (-)
関東	352	3.3 (-1.8)	1.5 (-0.1)	1.4 (-1.5)	2.3 (-0.4)	4.6 (-3.5)	1.4 (0.0)	7.0 (-1.4)	6.7 (2.0)	0.5 (-0.4)	0.6 (0.4)
中部	107	1.9 (1.4)	3.0 (0.9)	- (-3.1)	5.7 (0.9)	18.7 (4.7)	4.7 (0.5)	3.4 (0.1)	2.4 (-2.7)	0.4 (-0.3)	3.1 (3.1)
近畿	133	2.2 (0.8)	1.8 (-0.4)	1.6 (-0.4)	4.6 (1.8)	7.8 (-2.6)	0.7 (-1.1)	6.0 (-3.8)	6.4 (2.9)	- (-)	4.1 (2.7)
その他	87	4.6 (0.6)	1.1 (-3.1)	1.1 (-2.3)	1.8 (-3.0)	14.2 (2.2)	2.9 (0.6)	4.0 (-1.8)	2.4 (-1.2)	- (-0.4)	- (-2.0)
大学院生	112	8.9 (2.7)	- (-1.0)	- (-)	6.3 (0.1)	4.5 (0.3)	0.9 (-1.2)	3.6 (3.6)	4.5 (0.3)	- (-1.0)	0.9 (0.9)

* カッコ内は2017年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も多い区分を赤太字にした。

* 2017年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。
(回答者数が30未満のスコアを除く) * 回答者数が30未満はグレーの文字色にした。

③就職予定先の企業状況

大学生は「300人～999人」「1000人～4999人」、大学院生は「1000人～4999人」「5000人以上」の割合が高い。

就職確定者における就職予定先の従業員規模は、大学生・大学院生ともに「1000人～4999人」が最も高いが、大学生は「300人～999人」「1000人～4999人」を合わせて5割半ば、大学院生は「1000人～4999人」「5000人以上」を合わせて6割強となっており、大学院生のほうが従業員規模が大きい企業の割合が高い。

属性別にみると、関東・中部・近畿地域の大学生は「1000人～4999人」、その他地域の大学生は「100～299人」が最も高く、地域間で差がみられる。(図表5)

図表5 就職確定者の就職予定先の従業員規模(単一回答、単位=%)

n=		100人未満	100人～299人	300人～999人	1000人～4999人	5000人以上
大学生	679	8.7 (-6.9)	18.1 (0.4)	24.6 (1.1)	29.5 (5.5)	19.0 (-0.2)
文系	460	10.6 (-5.2)	19.1 (1.3)	21.1 (-1.0)	29.1 (3.6)	20.0 (1.4)
国公立	97	10.7 (-4.1)	15.8 (-0.7)	21.2 (0.0)	38.6 (9.7)	13.7 (-4.9)
私立	364	10.6 (-5.5)	20.0 (1.8)	21.1 (-1.3)	26.6 (1.9)	21.6 (3.0)
理系	218	4.6 (-10.3)	16.0 (-1.4)	31.9 (5.5)	30.4 (9.7)	17.1 (-3.5)
国公立	22	- (-12.0)	20.2 (-1.9)	45.5 (21.4)	34.4 (12.2)	- (-19.7)
私立	197	5.1 (-11.1)	15.5 (0.3)	30.4 (2.9)	30.0 (9.8)	19.0 (-2.0)
関東	352	5.8 (-7.2)	16.3 (-0.7)	26.9 (4.0)	29.2 (2.2)	21.7 (1.7)
中部	107	9.4 (-5.9)	17.6 (-8.3)	28.6 (9.9)	29.0 (7.1)	15.5 (-2.7)
近畿	133	12.6 (1.0)	15.3 (0.8)	17.1 (-10.5)	36.7 (16.1)	18.4 (-7.3)
その他	87	13.6 (-9.9)	30.5 (12.8)	22.0 (-0.8)	20.5 (-3.3)	13.3 (1.2)
大学院生	112	9.8 (-3.6)	13.4 (2.1)	13.4 (-12.4)	32.1 (13.6)	31.3 (0.3)

* カッコ内は2017年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も多い区分を**赤太字**にした。

* 2017年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。(回答者数が30未満のスコアを除く) * 回答者数が30未満はグレーの文字色にした。

③就職予定先の企業状況

大学生・大学院生ともに「総合職」が6割でトップ。大学生では「総合職」が増加し、「一般職」が減少している。

就職確定者における就職予定先の採用・コースは、大学生・大学院生ともに「総合職」で6割で最も高い。属性別にみると、大学生の文理別、地域別のいずれも「総合職」が最も高い。

2017年調査と比べると、大学生では「総合職」が増加し、「一般職」が減少している。(図表6)

図表6 就職確定者の就職予定先で応募した採用・コース(単一回答、単位=%)

n=		総合職	一般職	地域限定職	職務限定職	その他の採用 または職種・ コース	採用または 職種・コース等 の定めがない
大学生	679	61.4 (3.7)	14.9 (-4.6)	3.4 (-2.6)	4.6 (-0.9)	5.2 (0.5)	10.5 (3.8)
文系	460	62.6 (4.3)	16.2 (-4.8)	4.0 (-3.4)	3.1 (-0.2)	4.3 (1.3)	9.8 (2.7)
国公立	97	69.6 (11.2)	16.1 (1.4)	3.4 (-5.6)	3.1 (0.6)	3.2 (1.9)	4.6 (-9.5)
私立	364	60.7 (2.5)	16.2 (-6.2)	4.2 (-2.8)	3.1 (-0.4)	4.6 (1.2)	11.1 (5.7)
理系	218	58.8 (2.5)	12.3 (-3.9)	2.0 (-0.6)	7.8 (-2.8)	7.2 (-1.5)	12.0 (6.3)
国公立	22	59.9 (5.4)	11.4 (-11.4)	- (-0.7)	2.9 (-6.6)	11.4 (7.1)	14.4 (6.3)
私立	197	58.7 (1.5)	12.3 (-0.8)	2.2 (-1.2)	8.3 (-2.8)	6.7 (-3.9)	11.7 (7.2)
関東	352	67.3 (4.2)	15.0 (-4.0)	2.7 (-2.1)	1.8 (-3.6)	4.6 (1.8)	8.7 (3.7)
中部	107	59.3 (15.2)	16.8 (-8.7)	2.8 (-6.1)	5.3 (-1.1)	8.8 (4.7)	7.0 (-4.0)
近畿	133	61.8 (2.8)	10.8 (-6.3)	0.9 (-7.3)	6.9 (4.6)	4.9 (-2.6)	14.7 (8.9)
その他	87	39.5 (-15.7)	18.7 (-0.7)	10.7 (6.8)	11.7 (3.2)	3.8 (-1.4)	15.6 (7.8)
大学院生	112	64.3 (-0.7)	8.9 (-2.4)	- (-1.0)	14.3 (7.1)	6.3 (3.2)	6.3 (-6.1)

* カッコ内は2017年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も多い区分を**赤太字**にした。

* 2017年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。
(回答者数が30未満のスコアを除く) * 回答者数が30未満はグレーの文字色にした。

③就職予定先の企業状況

大学生・大学院生ともに「当初から第1志望(群)だった」が4割半ばでトップ。大学生で「当初から第1志望(群)だった」の割合が増加。

就職確定者における就職予定先の当初の志望状況は、大学生・大学院生ともに「当初から第1志望(群)だった」が4割半ばで最も高い。属性別にみると、大学生の文理別、地域別のいずれも「当初から第1志望(群)だった」が最も高い。

2017年調査と比べると、大学生で「当初はまったく志望していなかった」が減少し、「当初から第1志望(群)だった」の割合が増加している。(図表7)

図表7 就職確定者の就職活動を開始した当初の就職予定先の志望状況(単一回答、単位=%)

n=		当初から第1志望(群)だった	第1志望(群)ではないが、当初から志望していた	当初はまったく志望していなかった
大学生	679	44.9 (3.8)	29.8 (-1.1)	25.3 (-2.7)
文系	460	40.8 (0.7)	29.1 (-1.9)	30.1 (1.2)
国公立	97	40.6 (-5.5)	28.1 (-2.2)	31.3 (7.7)
私立	364	40.8 (2.1)	29.4 (-1.8)	29.8 (-0.3)
理系	218	53.6 (10.3)	31.3 (0.6)	15.1 (-10.9)
国公立	22	74.2 (23.2)	14.3 (-17.3)	11.4 (-5.9)
私立	197	51.3 (11.5)	33.2 (2.8)	15.6 (-14.4)
関東	352	45.6 (9.4)	28.7 (-2.9)	25.7 (-6.6)
中部	107	43.2 (-3.7)	35.1 (7.4)	21.7 (-3.7)
近畿	133	45.2 (3.8)	28.1 (-5.7)	26.7 (2.0)
その他	87	43.4 (-1.7)	30.4 (1.6)	26.2 (0.0)
大学院生	112	45.5 (-8.1)	29.5 (2.7)	25.0 (5.4)

* カッコ内は2017年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も多い区分を**赤太字**にした。

* 2017年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。(回答者数が30未満のスコアを除く) * 回答者数が30未満はグレーの文字色にした。

④就職活動の開始時期、終了時期、実施期間

就職活動に関する情報収集の開始時期は、「大学3年/大学院1年の6～9月頃」が最も高い。終了時期は「大学4年/大学院2年の6月頃」がピークも、前年よりも終了時期が早期化。

就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集の開始時期は、大学生・大学院生ともに「大学3年/大学院1年の6～9月頃」が最も高い。私立大学の理系大学生で、2017年調査から「大学4年/大学院2年の4～5月頃」の割合が減少し、「大学3年/大学院1年の6～9月頃」が増えており、他の属性と同じ傾向になっている。

プレエントリー、企業説明会の開始時期は、いずれの属性でも「大学3年/大学院1年の3月頃」が最も高い。2017年調査と比べると、大学生で「大学3年/大学院1年の3月頃」の割合が若干減少し、「大学3年/大学院1年の1～2月頃」が若干増加している。(図表8)

図表8 就職活動の開始時期(単一回答、単位=%)

		n=	大学3年/大学院1年					大学4年/大学院2年			
			5月以前	6～9月頃	10～11月頃	12月頃	1～2月頃	3月頃	4～5月頃	6～7月頃	8月以降
就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集	大学生	735	15.4 (2.1)	24.3 (5.3)	15.3 (0.7)	7.4 (-1.1)	17.6 (0.8)	9.9 (-4.8)	4.7 (-3.8)	2.0 (-0.9)	3.3 (1.8)
	文系	497	15.0 (2.7)	24.9 (3.9)	14.9 (-1.4)	7.4 (-0.6)	18.5 (0.9)	9.7 (-4.0)	5.6 (-2.1)	1.7 (-0.3)	2.4 (0.8)
	国公立	99	15.8 (4.5)	26.2 (5.2)	11.8 (-9.1)	6.7 (-1.6)	19.8 (2.0)	8.7 (-7.3)	5.2 (2.8)	3.7 (2.5)	2.1 (0.9)
	私立	398	14.8 (2.3)	24.5 (3.6)	15.7 (0.5)	7.6 (-0.4)	18.1 (0.6)	9.9 (-3.2)	5.7 (-3.2)	1.2 (-1.0)	2.4 (0.8)
	理系	238	16.2 (0.9)	23.3 (8.3)	16.2 (5.2)	7.4 (-2.2)	15.7 (0.6)	10.5 (-6.6)	2.9 (-7.6)	2.6 (-2.3)	5.2 (3.7)
	国公立	24	28.2 (20.5)	12.9 (-9.0)	15.3 (2.4)	10.2 (-0.2)	20.5 (-2.1)	- (-16.1)	2.6 (-2.4)	- (-3.2)	10.3 (10.3)
	私立	213	14.8 (-4.2)	24.5 (12.8)	16.3 (6.1)	7.0 (-2.1)	15.2 (3.6)	11.7 (-5.8)	3.0 (-10.1)	2.9 (-2.7)	4.6 (2.4)
	大学院生	110	21.8 (7.5)	14.5 (-3.5)	16.4 (1.1)	12.7 (5.1)	19.1 (1.9)	10.9 (-6.2)	0.9 (-7.7)	1.8 (1.8)	1.8 (-0.1)
プレエントリー	大学生	731	5.9 (0.8)	9.1 (1.1)	7.2 (2.3)	4.2 (-2.6)	17.2 (4.4)	38.9 (-6.8)	9.8 (-2.9)	2.6 (0.8)	5.0 (3.1)
	文系	498	4.7 (-0.5)	8.6 (0.4)	8.2 (2.3)	4.7 (-2.3)	17.4 (6.2)	40.4 (-6.4)	9.8 (-2.0)	2.3 (0.3)	4.0 (1.9)
	国公立	102	2.7 (-1.8)	6.3 (0.6)	14.2 (9.1)	4.6 (2.3)	15.0 (2.5)	35.5 (-21.1)	12.6 (2.9)	4.2 (2.5)	4.8 (3.1)
	私立	397	5.2 (-0.1)	9.1 (0.4)	6.7 (0.5)	4.8 (-3.4)	18.0 (7.1)	41.6 (-2.7)	9.1 (-3.2)	1.8 (-0.2)	3.8 (1.6)
	理系	233	8.5 (3.5)	10.1 (2.5)	5.1 (2.3)	2.9 (-3.1)	16.9 (0.5)	35.8 (-7.7)	9.9 (-5.1)	3.5 (1.7)	7.2 (5.4)
	国公立	24	- (-1.9)	10.2 (-1.8)	7.6 (6.4)	- (-6.7)	23.2 (8.8)	28.1 (-22.7)	2.6 (-9.1)	17.9 (17.3)	10.3 (9.7)
	私立	208	9.5 (3.0)	10.1 (4.6)	4.8 (1.2)	3.3 (-2.5)	16.2 (-1.2)	36.7 (-3.4)	10.7 (-5.8)	1.8 (-0.5)	6.8 (4.5)
	大学院生	116	6.9 (0.3)	6.0 (-0.6)	6.0 (0.4)	6.9 (1.2)	17.2 (1.2)	46.6 (-0.6)	5.2 (-6.1)	0.9 (-0.1)	4.3 (4.3)

*カッコ内は2017年とのスコア差を掲載。 *属性ごとに選択率が最も多い区分を**赤太字**にした。

* 2017年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。(回答者数が30未満のスコアを除く) *回答者数が30未満はグレーの文字色にした。

④就職活動の開始時期、終了時期、実施期間

※前ページより続き		n=	大学3年／大学院1年					大学4年／大学院2年			
			5月以前	6～9月頃	10～11月頃	12月頃	1～2月頃	3月頃	4～5月頃	6～7月頃	8月以降
企業説明会	大学生	748	5.4 (0.3)	9.1 (1.9)	6.2 (-0.2)	4.5 (0.0)	17.3 (4.3)	36.6 (-5.0)	10.5 (-5.1)	5.4 (1.6)	4.9 (2.2)
	文系	506	5.2 (-0.0)	9.9 (2.6)	6.2 (-1.0)	6.1 (1.1)	16.9 (3.3)	35.0 (-7.1)	12.2 (-1.6)	4.4 (1.3)	4.1 (1.3)
	国公立	102	2.7 (-2.5)	11.1 (5.8)	6.2 (1.0)	4.2 (2.4)	18.1 (6.5)	39.1 (-15.6)	11.1 (-2.9)	2.1 (1.6)	5.2 (3.5)
	私立	404	5.8 (0.6)	9.7 (1.8)	6.2 (-1.5)	6.6 (0.9)	16.6 (2.6)	33.9 (-5.2)	12.5 (-1.3)	4.9 (1.3)	3.9 (0.8)
	理系	242	5.9 (0.9)	7.4 (0.3)	6.2 (1.5)	1.3 (-2.2)	18.3 (6.2)	39.8 (-0.5)	7.0 (-12.4)	7.7 (2.3)	6.4 (4.1)
	国公立	24	- (-1.2)	7.8 (-4.2)	7.8 (2.2)	- (-2.5)	23.8 (10.2)	28.9 (-17.4)	2.7 (-11.9)	18.4 (15.3)	10.6 (9.4)
	私立	218	6.5 (-0.3)	7.4 (2.6)	6.0 (1.7)	1.4 (-2.6)	17.7 (6.3)	41.0 (3.5)	7.4 (-14.2)	6.5 (0.1)	6.0 (3.0)
	大学院生	120	6.7 (-0.1)	9.2 (3.3)	5.8 (0.0)	5.0 (-0.8)	17.5 (7.8)	42.5 (-9.9)	6.7 (-4.0)	3.3 (2.4)	3.3 (1.4)

* カッコ内は2017年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も多い区分を**赤太字**にした。

* 2017年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。
(回答者数が30未満のスコアを除く) * 回答者数が30未満はグレーの文字色にした。

④就職活動の開始時期、終了時期、実施期間

就職活動の終了時期は、大学生・大学院生ともに「大学4年/大学院2年の6月頃」がピークとなっており、大学生の文理別、地域別のいずれも同じ傾向となっている。

2017年調査と比べると、「大学4年の6月頃」までに就職活動を終了した大学生の合計は、2017年卒の38%から48%に増加しており、前年から終了時期が早くなっている。(図表9)

図表9 就職活動の終了時期(単一回答、単位=%)

	n=	大学3年/ 大学院1年 の3月以前	大学4年/大学院2年							活動継続中
			4月頃	5月頃	6月頃	7月頃	8月頃	9月頃	10~3月頃	
大学生	779	7.9 (1.5)	4.9 (2.0)	9.0 (2.9)	25.7 (3.6)	11.3 (-3.1)	10.2 (-0.2)	7.5 (-0.4)	16.1 (-5.2)	7.3 (-0.9)
文系	523	7.2 (1.1)	4.5 (3.0)	6.0 (1.1)	26.3 (3.3)	12.7 (-2.2)	9.1 (-0.9)	7.7 (-0.4)	19.0 (-5.3)	7.5 (0.3)
国公立	107	8.9 (3.0)	4.7 (2.0)	6.2 (4.1)	23.3 (-7.0)	14.2 (2.8)	9.3 (-0.5)	5.9 (-4.4)	19.2 (0.9)	8.3 (-0.8)
私立	416	6.8 (0.7)	4.4 (3.2)	6.0 (0.3)	27.1 (5.9)	12.3 (-3.4)	9.0 (-1.1)	8.1 (0.6)	19.0 (-6.9)	7.2 (0.6)
理系	256	9.2 (2.2)	5.8 (0.1)	15.1 (6.5)	24.3 (4.0)	8.6 (-5.1)	12.7 (1.3)	7.3 (-0.4)	10.0 (-5.1)	7.0 (-3.4)
国公立	25	2.5 (0.3)	10.0 (-3.5)	7.4 (4.1)	42.3 (13.5)	2.5 (-11.0)	15.1 (2.3)	10.0 (2.4)	- (-13.2)	10.0 (5.2)
私立	231	9.9 (0.6)	5.4 (3.3)	15.9 (4.8)	22.4 (6.1)	9.2 (-4.5)	12.4 (1.8)	7.0 (-0.8)	11.1 (-4.9)	6.7 (-6.4)
大学院生	125	7.2 (-1.8)	8.0 (2.6)	11.2 (-2.3)	31.2 (3.3)	8.0 (0.8)	10.4 (-3.1)	5.6 (0.2)	12.0 (-0.6)	6.4 (1.0)

* カッコ内は2017年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も多い区分を赤太字にした。

* 2017年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。
(回答者数が30未満のスコアを除く) * 回答者数が30未満はグレーの文字色にした。

④就職活動の開始時期、終了時期、実施期間

就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集の開始時期から就職活動の終了時期までの実施期間は、大学生は3割後半、大学院生は4割が半年以内となっている。2017年調査と比べると、大学院生、理系大学生で、半年以内の割合が減少している。(図表10)

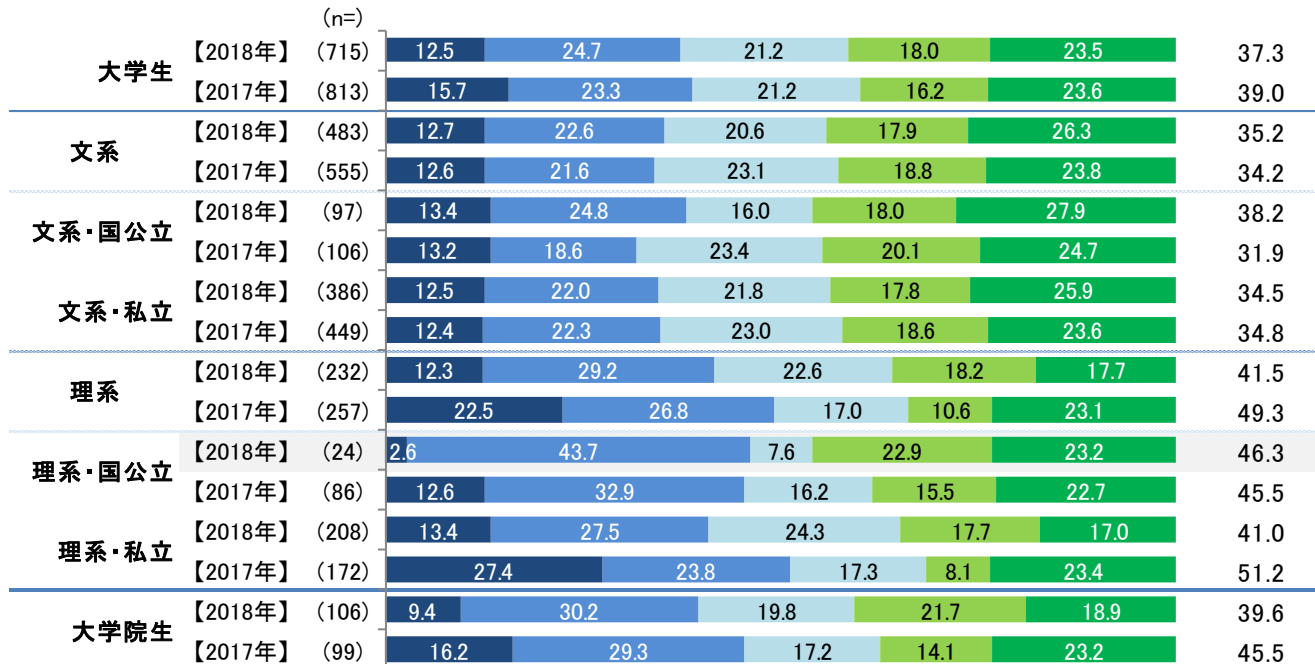
プレエントリー、企業説明会の開始時期から就職活動の終了時期までの実施期間は、大学生・大学院生ともに「0～3ヶ月」が最も高い。面接など対面選考の開始時期から就職活動の実施期間は、大学生で「0～2ヶ月」、大学院生で「3～4ヶ月」が最も高くなっている。(図表11)

図表10 就職活動の実施期間(単一回答、単位=%)

* 就職活動の進め方やノウハウに関する情報収集の開始月から就職活動の終了月。3月下旬時点の活動継続者は端数を切り上げ4月1日まで活動したとみなして算出。

■0～3ヶ月 ■4～6ヶ月 ■7～9ヶ月 ■10～12ヶ月 ■13ヶ月以上

6ヶ月以内・計



※6ヶ月以内・計:「0～3ヶ月」+「4～6ヶ月」

* 回答者数が30未満はグレーの網掛けにした。

図表11 就職活動の実施期間(単一回答、単位=%)

* 各就職活動の情報収集開始月から終了月。

3月下旬時点の活動継続者は端数を切り上げ4月1日まで活動したとみなして算出。

		n	0～3ヶ月	4～6ヶ月	7～9ヶ月	10～12ヶ月	13ヶ月以上
エントリー	大学生	700	34.5 (5.0)	31.6 (-0.6)	13.4 (-2.8)	11.1 (1.0)	9.5 (-2.6)
	大学院生	110	37.3 (1.9)	32.7 (3.4)	10.9 (-2.2)	10.0 (1.9)	9.1 (-5.1)
企業説明会	大学生	723	37.1 (5.4)	30.2 (0.2)	14.2 (-3.0)	10.3 (0.3)	8.2 (-2.9)
	大学院生	115	35.7 (-6.5)	34.8 (7.4)	11.3 (-0.3)	9.6 (4.3)	8.7 (-5.0)
		n	0～2ヶ月	3～4ヶ月	5～6ヶ月	7～9ヶ月	10ヶ月以上
面接などの対面選考	大学生	717	30.0 (4.6)	25.5 (-1.4)	17.1 (2.4)	11.9 (-3.4)	15.5 (-2.2)
	大学院生	115	28.7 (-5.6)	30.4 (7.2)	14.8 (1.7)	9.6 (0.5)	16.5 (-3.7)

* カッコ内は2017年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに選択率が最も多い区分を赤太字にした。

* 2017年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色、10ポイント以上低いセルを濃い青色で網掛けした。

⑤就職活動の各プロセスの活動量

大学生のプレントリー29.4社、企業説明会参加18.5社、書類選考14.1社、面接など対面選考9.6社。関東地域の大学生で、プレントリー社数が減少し、絞込みが進む。

各活動の対象企業・団体数の平均値は、大学生ではプレントリー29.4社、企業説明会18.5社、書類選考14.1社、面接など対面選考9.6社、最終面接3.3社、内定取得2.3社。属性別にみると、理系大学生よりも文系大学生でプレントリー、企業説明会、書類選考、面接など対面選考の社数が多い。

2017年調査と比較すると、国公立大学の文系大学生、関東地域の大学生でプレントリー社数が減少しているが、企業説明会の者数は同水準となっており、プレントリー社数を絞り込んでいる傾向がみられる。

プレントリーした企業のうち、就職活動開始前から知っていた企業は、大学生・大学院生ともに10社半ばとなっており、大学生・大学院生で違いはみられない。(図表12)

図表12 就職活動の各プロセスにおける対象企業・団体数の平均値(数値回答、単位=社) ※0社回答を除く

	プレントリーした	プレントリーしたうち、就職活動開始前から知っていた	企業説明会に参加した	書類選考を受けた	面接などの対面選考を受けた	最終面接を受けた	内定(内々定)を取得した
大学生	29.4 (-3.9)	17.5 (1.8)	18.5 (-2.3)	14.1 (-0.9)	9.6 (-0.7)	3.3 (0.1)	2.3 (0.2)
文系	<u>32.3</u> (-4.9)	<u>18.8</u> (0.8)	<u>19.8</u> (-2.8)	<u>15.4</u> (-1.3)	<u>10.3</u> (-1.2)	3.3 (-0.0)	2.3 (0.1)
国公立	27.7 (-6.9)	16.0 (-3.4)	<u>21.6</u> (1.2)	14.8 (0.4)	<u>11.1</u> (-0.3)	<u>3.8</u> (0.4)	<u>2.4</u> (0.3)
私立	<u>33.5</u> (-4.3)	<u>19.6</u> (1.9)	19.4 (-3.8)	<u>15.6</u> (-1.8)	10.1 (-1.4)	3.2 (-0.1)	2.3 (0.1)
理系	23.3 (-1.8)	14.4 (4.3)	15.6 (-1.3)	11.5 (0.1)	8.0 (0.2)	<u>3.4</u> (0.3)	<u>2.4</u> (0.3)
国公立	18.4 (-3.7)	6.9 (-2.2)	13.3 (-2.1)	9.2 (-0.0)	7.2 (0.7)	2.8 (0.2)	1.8 (-0.1)
私立	23.9 (-2.7)	15.3 (4.8)	15.9 (-1.7)	11.7 (-0.7)	8.1 (-0.4)	3.4 (0.1)	2.5 (0.2)
関東	<u>30.8</u> (-10.2)	<u>18.9</u> (0.5)	18.7 (-3.8)	15.1 (-2.8)	10.0 (-1.9)	3.3 (-0.0)	<u>2.5</u> (0.2)
中部	28.5 (1.8)	13.5 (1.3)	18.5 (2.6)	11.8 (0.7)	8.4 (0.3)	3.2 (0.2)	2.2 (0.2)
近畿	<u>32.2</u> (-2.5)	18.5 (2.0)	<u>19.5</u> (-6.9)	<u>15.4</u> (-2.6)	<u>10.3</u> (-2.4)	<u>3.7</u> (0.0)	2.4 (0.1)
その他	19.5 (-3.6)	14.1 (2.1)	15.9 (0.6)	10.5 (0.8)	8.0 (1.0)	3.3 (0.3)	2.0 (-0.0)
大学院生	28.6 (0.3)	16.4 (-0.6)	17.6 (0.2)	15.8 (0.6)	9.6 (0.5)	3.3 (0.5)	2.2 (0.4)

* カッコ内は2017年とのスコア差を掲載。

* 各活動の文理別/文理×国公立別/地域別で、最も対象企業・団体数の平均値が多いスコアに下線を引いた。

* 2017年とのスコア差が5ポイント以上高いセルを薄い橙色、5ポイント以上低いセルを薄い青色で網掛けした。
(回答者数が30未満のスコアを除く) * 回答者数が30未満はグレーの文字色にした。

⑤就職活動の各プロセスの活動量

※回答者数(単位=人)

	プレエントリー した	プレエントリー したうち、就職 活動開始前か ら知っていた	企業説明会に 参加した	書類選考を 受けた	面接などの 対面選考を 受けた	最終面接を 受けた	内定(内々定) を取得した
大学生	731	687	746	752	752	732	709
文系	498	474	504	504	510	497	476
国公立	102	97	100	101	104	101	96
私立	397	377	404	403	406	396	381
理系	233	213	242	248	241	235	232
国公立	24	23	24	25	25	25	22
私立	208	190	218	223	216	210	210
関東	388	366	390	392	394	384	372
中部	107	101	114	117	115	114	116
近畿	152	143	153	154	152	147	134
その他	85	78	89	88	90	87	86
大学院生	116	112	120	124	121	118	117

* 回答者数が30未満はグレーの文字色にした。

⑤就職活動の各プロセスの活動量

就職活動の各プロセスの対象企業・団体数の分布を属性別にみると、文系大学生、理系大学生ともに、プレエントリー、企業説明会は「20～49社」の割合が最も高いが、面接などの対面選考になると、文系大学生は「10～19社」、理系大学生は「1～4社」が最も高く、社数に開きがみられる。

2017年調査と比べると、大学院生では、面接などの対面選考の社数が「1～4社」の割合が減少し、「5～9社」が増加している。(図表13)

図表13 就職活動の各プロセスにおける対象企業・団体数の分布(数値回答、単位=%)

	n=	20社未満				20～49社	50～99社	100社以上	
		0社	1～4社	5～9社	10～19社				
(資料・採用情報の請求) プレエントリーした	大学生	779	6.2 (0.3)	15.5 (1.8)	7.7 (-0.4)	16.6 (0.1)	31.2 (1.5)	17.9 (-1.4)	4.8 (-2.0)
	文系	523	4.8 (0.7)	12.7 (2.1)	7.1 (-0.3)	15.5 (-1.0)	33.9 (2.0)	20.2 (-0.9)	5.8 (-2.6)
	国公立	107	5.4 (0.0)	14.6 (3.8)	7.4 (1.4)	15.8 (-2.5)	37.1 (2.5)	16.2 (-2.8)	3.5 (-2.5)
	私立	416	4.6 (0.8)	12.3 (1.7)	7.0 (-0.8)	15.4 (-0.6)	33.0 (1.9)	21.2 (-0.4)	6.4 (-2.6)
	理系	256	9.0 (-0.3)	21.2 (1.2)	9.0 (-0.5)	18.9 (2.2)	25.8 (0.6)	13.4 (-2.2)	2.7 (-0.8)
	国公立	25	2.5 (-6.8)	20.0 (-3.6)	2.5 (-12.1)	30.0 (11.2)	34.9 (20.2)	7.4 (-9.8)	2.5 (0.9)
	私立	231	9.7 (0.4)	21.3 (3.0)	9.7 (2.6)	17.8 (1.9)	24.8 (-5.4)	14.0 (-0.8)	2.7 (-1.7)
	大学院生	125	7.2 (2.7)	6.4 (-6.2)	12.0 (4.8)	21.6 (0.9)	34.4 (0.2)	13.6 (-0.8)	4.8 (-1.5)
企業説明会に参加した	大学生	779	4.2 (1.0)	17.6 (2.6)	13.0 (-3.0)	21.9 (1.1)	35.6 (1.4)	7.3 (-2.3)	0.4 (-0.8)
	文系	523	3.6 (1.0)	15.1 (3.1)	12.8 (-0.9)	22.4 (0.8)	37.9 (1.2)	7.5 (-4.8)	0.6 (-0.4)
	国公立	107	6.7 (-0.4)	18.0 (3.7)	7.7 (-1.0)	19.5 (-3.6)	36.2 (-2.3)	11.2 (2.9)	0.6 (0.6)
	私立	416	2.8 (1.3)	14.4 (2.9)	14.1 (-0.8)	23.2 (1.9)	38.4 (2.0)	6.5 (-6.8)	0.6 (-0.7)
	理系	256	5.4 (1.1)	22.6 (1.5)	13.4 (-7.4)	20.9 (1.7)	30.9 (1.8)	6.8 (2.8)	- (-1.5)
	国公立	25	5.1 (1.0)	20.0 (-8.8)	7.4 (-12.8)	40.0 (22.3)	24.9 (-0.1)	2.5 (0.3)	- (-1.9)
	私立	231	5.4 (1.0)	22.9 (5.4)	14.0 (-7.0)	18.9 (-1.1)	31.5 (0.6)	7.3 (2.4)	- (-1.4)
	大学院生	125	4.0 (-3.3)	10.4 (-5.1)	20.0 (4.5)	28.0 (2.5)	32.8 (1.9)	4.8 (0.3)	- (-0.9)

*カッコ内は2017年とのスコア差を掲載。 *属性ごとに最も多い区分を**赤太字**にした。

*2017年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。
(回答者数が30未満のスコアを除く) *回答者数が30未満はグレーの文字色にした。

⑤就職活動の各プロセスの活動量

※前ページより続き		n=	20社未満				20~49社	50~99社	100社以上
			0社	1~4社	5~9社	10~19社			
書類選考を受けた	大学生	779	3.5 (-1.4)	24.4 (2.9)	16.8 (-1.2)	25.1 (-0.2)	28.0 (2.1)	1.9 (-1.7)	0.2 (-0.5)
	文系	523	3.7 (0.2)	19.7 (2.0)	16.7 (-0.6)	24.7 (-2.7)	32.6 (4.6)	2.3 (-2.7)	0.3 (-0.8)
	国公立	107	6.1 (1.7)	25.5 (3.6)	9.5 (-3.0)	25.1 (-2.4)	32.4 (1.5)	1.3 (-1.5)	- (-)
	私立	416	3.1 (-0.2)	18.2 (1.5)	18.5 (0.1)	24.6 (-2.8)	32.7 (5.3)	2.5 (-3.0)	0.4 (-0.9)
	理系	256	3.2 (-4.6)	34.1 (4.7)	17.0 (-2.3)	26.0 (4.7)	18.5 (-2.9)	1.2 (0.3)	- (-)
	国公立	25	- (-6.5)	25.1 (-12.8)	22.3 (-3.1)	40.0 (27.1)	12.6 (-3.6)	- (-1.1)	- (-)
	私立	231	3.5 (-4.8)	35.1 (9.7)	16.4 (0.1)	24.5 (-0.8)	19.1 (-4.7)	1.4 (0.5)	- (-)
	大学院生	125	0.8 (-1.9)	20.0 (-6.1)	19.2 (4.8)	28.8 (0.9)	24.0 (4.2)	7.2 (-1.8)	- (-)
面接などの対面選考を受けた	大学生	779	3.5 (-2.1)	31.3 (1.8)	21.0 (-1.2)	29.8 (3.1)	13.6 (-0.5)	0.7 (-0.8)	- (-0.2)
	文系	523	2.5 (-2.2)	27.8 (3.0)	23.1 (-0.8)	30.1 (2.2)	15.4 (-0.8)	1.0 (-1.2)	- (-0.3)
	国公立	107	3.0 (-4.1)	29.0 (2.0)	16.4 (-5.1)	35.0 (5.1)	14.5 (2.6)	2.1 (1.0)	- (-1.6)
	私立	416	2.4 (-1.7)	27.5 (3.2)	24.8 (0.4)	28.9 (1.5)	15.6 (-1.6)	0.7 (-1.7)	- (-)
	理系	256	5.6 (-2.0)	38.5 (-0.5)	16.8 (-2.0)	29.2 (4.8)	10.0 (0.0)	- (-0.2)	- (-)
	国公立	25	- (-4.3)	32.6 (-14.1)	20.0 (-4.9)	47.5 (29.8)	- (-6.0)	- (-0.6)	- (-)
	私立	231	6.2 (-3.0)	39.1 (3.7)	16.4 (0.5)	27.2 (-0.4)	11.1 (-0.8)	- (-)	- (-)
	大学院生	125	3.2 (-2.2)	28.0 (-11.6)	28.0 (9.1)	25.6 (4.9)	14.4 (-0.9)	0.8 (0.8)	- (-)

* カッコ内は2017年とのスコア差を掲載。 * 属性ごとに最も多い区分を**赤太字**にした。

* 2017年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。
(回答者数が30未満のスコアを除く) * 回答者数が30未満はグレーの文字色にした。

⑤就職活動の各プロセスの活動量

※前ページより続き		n=	20社未満				20~49社	50~99社	100社以上
			0社	1~4社	5~9社	10~19社			
最終面接を受けた	大学生	779	6.0 (-3.6)	69.6 (-0.5)	20.5 (4.6)	3.0 (-1.3)	0.9 (0.8)	- (-)	- (-)
	文系	523	5.0 (-2.2)	70.5 (0.1)	20.4 (2.9)	3.4 (-1.2)	0.7 (0.5)	- (-)	- (-)
	国公立	107	6.0 (-6.6)	65.0 (1.8)	20.4 (1.2)	7.0 (2.1)	1.5 (1.5)	- (-)	- (-)
	私立	416	4.7 (-1.1)	71.9 (-0.3)	20.4 (3.3)	2.5 (-2.1)	0.5 (0.2)	- (-)	- (-)
	理系	256	8.0 (-6.5)	67.7 (-1.6)	20.7 (8.1)	2.2 (-1.5)	1.5 (1.5)	- (-)	- (-)
	国公立	25	- (-9.6)	77.4 (1.7)	22.6 (9.0)	- (-1.1)	- (-)	- (-)	- (-)
	私立	231	8.9 (-7.9)	66.6 (0.4)	20.5 (8.4)	2.4 (-2.4)	1.6 (1.6)	- (-)	- (-)
大学院生	125	5.6 (-5.2)	72.0 (-2.8)	16.0 (7.0)	6.4 (1.9)	- (-0.9)	- (-)	- (-)	

		n=	0社	1社	2社	3社	4社	5社以上
内定（内々定）を取得した	大学生	779	8.6 (-2.0)	34.1 (-3.4)	22.8 (-0.3)	17.3 (2.5)	10.2 (2.1)	7.0 (1.1)
	文系	523	8.2 (1.3)	34.7 (-2.7)	22.7 (-2.4)	20.1 (3.5)	8.0 (0.2)	6.2 (0.1)
	国公立	107	8.7 (-4.3)	37.0 (3.0)	22.8 (-3.2)	16.5 (3.1)	4.2 (-2.8)	10.9 (4.4)
	私立	416	8.1 (2.6)	34.1 (-4.1)	22.7 (-2.2)	21.0 (3.7)	9.0 (1.0)	4.9 (-1.0)
	理系	256	9.2 (-8.6)	32.9 (-5.0)	22.9 (4.1)	11.7 (0.3)	14.6 (5.9)	8.7 (3.2)
	国公立	25	12.6 (-3.8)	47.4 (1.6)	27.5 (12.7)	2.5 (-12.2)	7.4 (-0.4)	2.5 (2.0)
	私立	231	8.9 (-9.6)	31.3 (-2.8)	22.4 (1.6)	12.7 (2.9)	15.4 (6.3)	9.4 (1.6)
大学院生	125	6.4 (-1.7)	36.8 (-15.5)	27.2 (4.7)	18.4 (9.4)	4.0 (-1.4)	7.2 (4.5)	

*カッコ内は2017年とのスコア差を掲載。 *属性ごとに最も多い区分を**赤太字**にした。

*2017年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。
(回答者数が30未満のスコアを除く) *回答者数が30未満はグレーの文字色にした。

⑥ 知りたかった情報、知ることができた情報

大学生が、[プレエントリー][一次選考応募]の対象を選ぶ時に知りたかった情報は「具体的な仕事内容」「経営理念・ビジョン」「事業の安定性・将来性」が上位で、7～8割が知ることができた。

大学生が知りたかった情報は、[プレエントリー][一次選考応募]の対象を選ぶ時は、「具体的な仕事内容」「経営理念・ビジョン」「事業の安定性・将来性」が上位。これらの情報を知ることができたタイミングは、大学生の7～8割が、[プレエントリー][一次選考応募]の対象を選ぶ段階までと回答している。

大学院生は、[プレエントリー][一次選考応募]の対象を選ぶ時に、「勤務地」を知りたい傾向が強く、この情報を知ることができたタイミングは、大学院生の6割が[プレエントリー][一次選考応募]の対象を選ぶ段階までと回答している。

2017年調査と比べると、知りたかった情報では[プレエントリー][一次選考応募]の対象を選ぶ時、大学生で「勤務地」の割合が減少し、「経営理念・ビジョン」が増加している。一方、大学院生では「経営理念・ビジョン」の割合が減少し、「事業の安定性・将来性」が増加している。(図表14、15)

図表14 就職活動の段階別に知りたかった情報(複数回答、単位=%)

	プレエントリーをする際 (すべて)		一次選考に応募する際 (すべて)		就職先を選ぶ際 (すべて)	
	大学生	大学院生	大学生	大学院生	大学生	大学院生
	(n=779)	(n=125)	(n=779)	(n=125)	(n=779)	(n=125)
経営理念・ビジョン	49.9 (6.3)	45.6 (-11.2)	42.2 (5.8)	43.2 (-5.4)	35.6 (3.7)	38.4 (-0.3)
社会貢献活動や環境問題への取り組み状況	20.9 (4.0)	25.6 (1.3)	17.9 (2.6)	19.2 (-3.3)	14.6 (1.9)	16.0 (-2.0)
事業の安定性・将来性	49.6 (1.6)	58.4 (10.7)	41.9 (0.6)	49.6 (6.4)	41.6 (-1.4)	48.8 (7.4)
事業内容や商品・サービスの特性	42.6 (0.3)	53.6 (3.1)	34.9 (4.0)	40.0 (-1.4)	29.0 (1.3)	32.0 (-1.3)
具体的な仕事内容	53.9 (-1.6)	69.6 (2.0)	46.4 (-1.7)	60.8 (3.1)	45.5 (1.0)	56.8 (0.9)
若手社員の仕事の様子	29.5 (-3.6)	40.8 (8.4)	25.4 (-3.0)	34.4 (-0.7)	25.4 (-4.6)	32.8 (3.1)
組織風土	33.2 (1.7)	45.6 (5.1)	29.3 (-2.5)	44.0 (4.4)	30.5 (0.9)	41.6 (2.9)
従業員構成の男女比・内訳	21.4 (1.9)	23.2 (4.3)	14.7 (0.2)	18.4 (0.4)	12.3 (-2.5)	13.6 (0.1)
従業員構成の年齢別の内訳	18.7 (1.4)	19.2 (3.0)	14.2 (1.5)	14.4 (3.6)	12.3 (-2.0)	16.0 (6.1)
職場の人間関係・雰囲気	35.3 (-0.7)	44.0 (1.7)	34.9 (-1.6)	44.8 (1.6)	39.1 (-0.5)	47.2 (4.9)
勤務地	45.7 (-5.9)	56.8 (-2.7)	39.0 (-5.8)	47.2 (4.9)	42.2 (-4.2)	51.2 (3.5)
採用時の具体的給与・賞与額	35.6 (-6.8)	51.2 (0.7)	31.9 (-5.3)	40.8 (3.0)	35.8 (-4.6)	46.4 (2.3)
将来の給与の見通し	25.8 (-1.5)	40.0 (4.9)	23.0 (-2.2)	33.6 (6.6)	28.3 (-2.2)	40.0 (6.7)
諸手当の支給状況	22.6 (-2.6)	28.8 (-5.4)	21.1 (-1.7)	24.0 (-3.0)	26.8 (-0.0)	31.2 (-0.3)

* カッコ内は2017年とのスコア差を掲載。

* 属性ごとに選択率が上位の3項目を■で網掛け太字にした。

⑥ 知りたかった情報、知ることができた情報

※前ページより続き	プレエントリーをする際 (すべて)		一次選考に応募する際 (すべて)		就職先を選ぶ際 (すべて)	
	大学生	大学院生	大学生	大学院生	大学生	大学院生
	(n=779)	(n=125)	(n=779)	(n=125)	(n=779)	(n=125)
忙しさの度合い	31.0 (-2.6)	34.4 (-3.4)	29.8 (-2.1)	29.6 (1.7)	31.1 (-4.3)	28.8 (-5.4)
有給休暇日数と取得状況	27.7 (-0.8)	24.0 (-6.6)	25.0 (-1.9)	22.4 (-1.9)	29.0 (-0.9)	23.2 (-4.7)
人事評価制度と運用状況	13.2 (-0.0)	14.4 (-2.7)	13.6 (1.8)	20.0 (3.8)	15.3 (1.0)	24.0 (2.4)
教育研修制度と運用状況	14.7 (-3.1)	20.0 (-7.9)	16.5 (-1.0)	25.6 (4.9)	17.5 (-3.7)	28.8 (4.5)
出産・育児・介護との両立を支援する制度と利用状況	13.9 (0.5)	18.4 (0.4)	14.0 (0.4)	23.2 (7.9)	15.3 (-1.2)	24.0 (6.9)
新卒者の定着状況	19.9 (-3.5)	24.8 (-3.1)	18.2 (-3.9)	20.0 (3.8)	18.9 (-3.3)	18.4 (1.3)
新卒者の採用人数	26.2 (-2.1)	25.6 (-9.5)	20.0 (-1.9)	19.2 (-6.9)	14.5 (-2.0)	11.2 (-2.3)
採用選考の応募資格(学校種別、専攻分野)	21.1 (1.6)	23.2 (-6.5)	13.3 (0.3)	16.0 (1.6)	9.2 (0.8)	9.6 (-0.3)
採用実績校	17.6 (1.0)	17.6 (-2.2)	10.8 (0.4)	12.8 (1.1)	8.2 (1.0)	7.2 (1.8)
求める人物像・採用選考の基準	27.6 (-1.1)	37.6 (-5.6)	25.4 (-0.5)	36.0 (-0.9)	13.2 (-1.6)	20.8 (-1.7)
選考中に提出が必要な書類	30.1 (0.7)	38.4 (-1.2)	23.2 (-0.7)	29.6 (1.7)	9.5 (-2.5)	15.2 (3.5)
内定までの選考プロセス	38.0 (-0.1)	44.0 (-1.0)	28.3 (-3.9)	37.6 (-1.1)	14.8 (-3.1)	15.2 (-2.8)
その他	0.4 (-0.2)	- (-0.9)	0.5 (-0.1)	- (-0.9)	0.5 (-0.3)	- (-0.9)

* カッコ内は2017年とのスコア差を掲載。

* 属性ごとに選択率が上位の3項目を■で網掛け太字にした。

⑥ 知りたかった情報、知ることができた情報

図表15 知ることができた情報とそのタイミング(単一回答、単位=%)

	大学生 (n=779)				大学院生 (n=125)			
	知ることができた			知ることができなかった	知ることができた			知ることができなかった
	プレエントリー対象を選ぶときまで	一次選考応募対象を選ぶときまで	最終的な就職先を選ぶときまで		プレエントリー対象を選ぶときまで	一次選考応募対象を選ぶときまで	最終的な就職先を選ぶときまで	
経営理念・ビジョン	54.8 (-3.2)	30.0 (2.6)	7.6 (-0.8)	7.6 (1.4)	56.8 (-2.7)	29.6 (1.7)	8.8 (0.7)	4.8 (0.3)
社会貢献活動や環境問題への取り組み状況	37.1 (-5.9)	36.7 (6.2)	10.2 (-1.1)	16.0 (0.8)	42.4 (0.1)	36.0 (4.5)	9.6 (-0.3)	12.0 (-4.2)
事業の安定性・将来性	32.1 (-1.3)	38.8 (2.8)	16.3 (0.3)	12.7 (-1.7)	34.4 (7.4)	37.6 (-2.9)	16.8 (1.5)	11.2 (-5.9)
事業内容や商品・サービスの特性	39.1 (-3.9)	39.8 (3.3)	13.4 (1.0)	7.7 (-0.4)	46.4 (3.2)	36.8 (-1.9)	8.8 (-2.9)	8.0 (1.7)
具体的な仕事内容	33.3 (-4.4)	43.8 (3.5)	16.7 (2.5)	6.1 (-1.6)	41.6 (11.9)	40.0 (-8.6)	11.2 (-6.8)	7.2 (3.6)
若手社員の仕事の様子	21.6 (-3.7)	39.3 (3.5)	22.9 (1.7)	16.2 (-1.5)	18.4 (-4.1)	46.4 (3.2)	19.2 (2.1)	16.0 (-1.1)
組織風土	22.6 (-2.5)	41.0 (3.7)	21.3 (1.6)	15.2 (-2.8)	23.2 (0.7)	40.8 (1.2)	21.6 (2.7)	14.4 (-4.5)
従業員構成の男女比・内訳	39.0 (3.7)	34.4 (-0.6)	15.5 (1.7)	11.1 (-4.9)	40.8 (12.9)	33.6 (-6.9)	12.0 (1.2)	13.6 (-7.1)
従業員構成の年齢別の内訳	34.9 (2.7)	33.7 (-1.4)	14.3 (2.1)	17.2 (-3.4)	36.0 (6.3)	29.6 (-1.9)	12.8 (2.0)	21.6 (-6.3)
職場の人間関係・雰囲気	21.3 (-1.5)	34.3 (-0.5)	28.2 (3.9)	16.3 (-1.9)	22.4 (9.8)	34.4 (-7.0)	28.8 (3.6)	14.4 (-6.3)
勤務地	35.6 (-1.8)	34.0 (-0.1)	21.6 (2.1)	8.8 (-0.2)	35.2 (-2.6)	29.6 (-6.4)	20.8 (5.5)	14.4 (3.6)
採用時の具体的な給与・賞与額	32.0 (-1.7)	37.3 (1.8)	18.0 (-1.2)	12.7 (1.1)	37.6 (-0.2)	35.2 (3.7)	18.4 (3.1)	8.8 (-6.5)
将来の給与の見通し	24.6 (2.0)	27.3 (-1.7)	19.3 (2.0)	28.7 (-2.3)	23.2 (6.1)	25.6 (-2.3)	21.6 (9.9)	29.6 (-13.6)
諸手当の支給状況	29.1 (3.5)	31.5 (-2.9)	23.3 (0.6)	16.2 (-1.1)	24.8 (4.1)	27.2 (0.2)	24.8 (-2.2)	23.2 (-2.0)

* カッコ内は2017年とのスコア差を掲載。

* 情報ごとに最も多いタイミングを太字にした。

* 属性ごとに、「図表14 就職活動の段階別に知りたかった」の上位3情報の選択率が高いもの3つに■で網掛けした。

⑥ 知りたかった情報、知ることができた情報

※前ページより続き

	大学生 (n=779)				大学院生 (n=125)			
	知ることができた			知ることができなかった	知ることができた			知ることができなかった
	プレエントリー対象を選ぶときまで	一次選考応募対象を選ぶときまで	最終的な就職先を選ぶときまで		プレエントリー対象を選ぶときまで	一次選考応募対象を選ぶときまで	最終的な就職先を選ぶときまで	
忙しさの度合い	21.9 (3.2)	32.1 (-0.2)	21.9 (0.7)	24.1 (-3.7)	17.6 (1.4)	31.2 (-1.2)	26.4 (9.3)	24.8 (-9.4)
有給休暇日数と取得状況	25.7 (4.1)	35.6 (5.6)	17.5 (-1.0)	21.3 (-8.7)	23.2 (-0.2)	32.8 (4.9)	18.4 (2.2)	25.6 (-6.8)
人事評価制度と運用状況	21.2 (3.2)	29.1 (-1.4)	16.7 (-0.2)	33.0 (-1.5)	15.2 (1.7)	28.8 (0.9)	21.6 (9.9)	34.4 (-12.4)
教育研修制度と運用状況	24.0 (-0.7)	34.3 (0.6)	23.4 (3.4)	18.3 (-3.2)	21.6 (3.6)	29.6 (-1.0)	24.0 (1.5)	24.8 (-4.0)
出産・育児・介護との両立を支援する制度と利用状況	24.5 (-0.9)	37.4 (5.5)	17.4 (-0.8)	20.6 (-3.8)	20.8 (1.0)	35.2 (2.8)	19.2 (0.3)	24.8 (-4.0)
新卒者の定着状況	27.7 (3.0)	34.1 (7.0)	16.9 (0.8)	21.3 (-10.8)	32.8 (19.3)	28.0 (-0.8)	12.8 (0.2)	26.4 (-18.6)
新卒者の採用人数	39.8 (3.3)	34.4 (2.3)	14.9 (-1.6)	10.9 (-4.0)	36.8 (2.6)	28.0 (0.1)	13.6 (1.0)	21.6 (-3.6)
採用選考の応募資格 (学校種別、専攻分野)	46.7 (0.3)	31.2 (1.3)	11.9 (0.9)	10.2 (-2.5)	49.6 (2.8)	26.4 (-0.6)	10.4 (-0.4)	13.6 (-1.7)
採用実績校	46.5 (-0.5)	25.0 (2.1)	10.1 (0.1)	18.4 (-1.7)	48.0 (6.6)	19.2 (-2.4)	11.2 (2.2)	21.6 (-6.3)
求める人物像・採用選考の基準	42.4 (-0.7)	37.4 (3.3)	11.0 (-1.0)	9.1 (-1.6)	46.4 (0.5)	33.6 (3.9)	7.2 (-1.8)	12.8 (-2.5)
選考中に提出が必要な書類	47.3 (-0.2)	36.7 (2.7)	10.7 (-1.3)	5.3 (-1.2)	56.0 (13.7)	30.4 (-4.7)	6.4 (-9.8)	7.2 (0.9)
内定までの選考プロセス	40.3 (-2.5)	41.8 (5.5)	11.2 (-1.2)	6.6 (-1.8)	42.4 (-0.8)	40.0 (4.0)	10.4 (-0.4)	7.2 (-2.7)
その他	4.2 (-0.9)	5.7 (0.4)	3.6 (-1.1)	29.6 (-0.6)	4.8 (-1.5)	4.0 (-2.3)	4.0 (2.2)	24.0 (-13.8)

* カッコ内は2017年とのスコア差を掲載。

* 情報ごとに最も多いタイミングを太字にした。

* 属性ごとに、「図表14 就職活動の段階別に知りたかった」の上位3情報の選択率が高いもの3つに■で網掛けした。

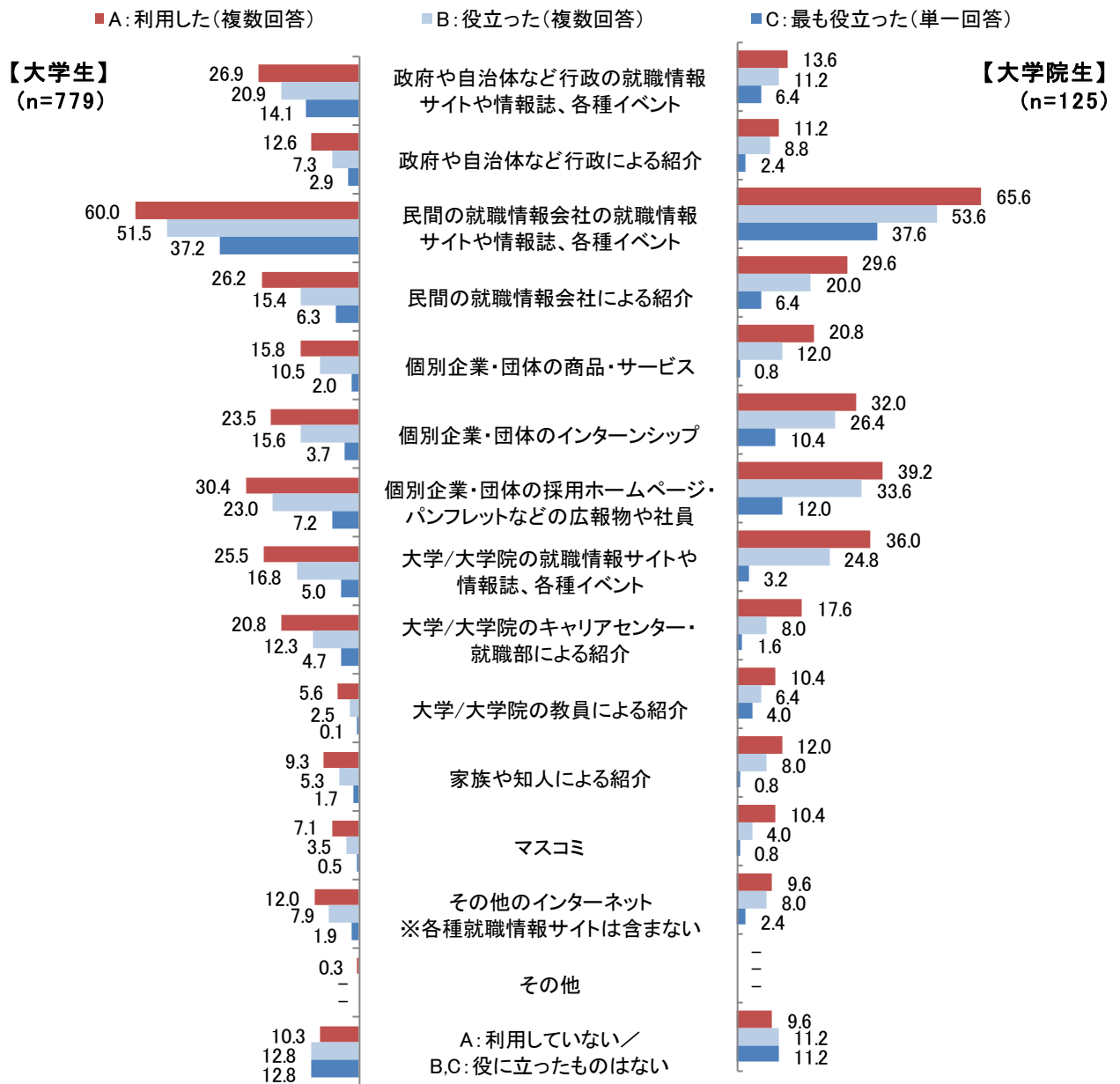
⑦就職予定先に関する情報源

[プレントリー][一次選考応募][最終的な就職先]を選ぶときの情報源は、いずれも民間の就職情報会社がトップで、個別企業の採用広報物や社員が続く。

[プレントリー][一次選考応募][最終的な就職先]をそれぞれ選ぶときの情報源は、大学生・大学院生ともに「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」がトップで、「個別企業・団体の採用ホームページ・パンフレットなどの広報物や社員」が続く。(図表16-1～3)

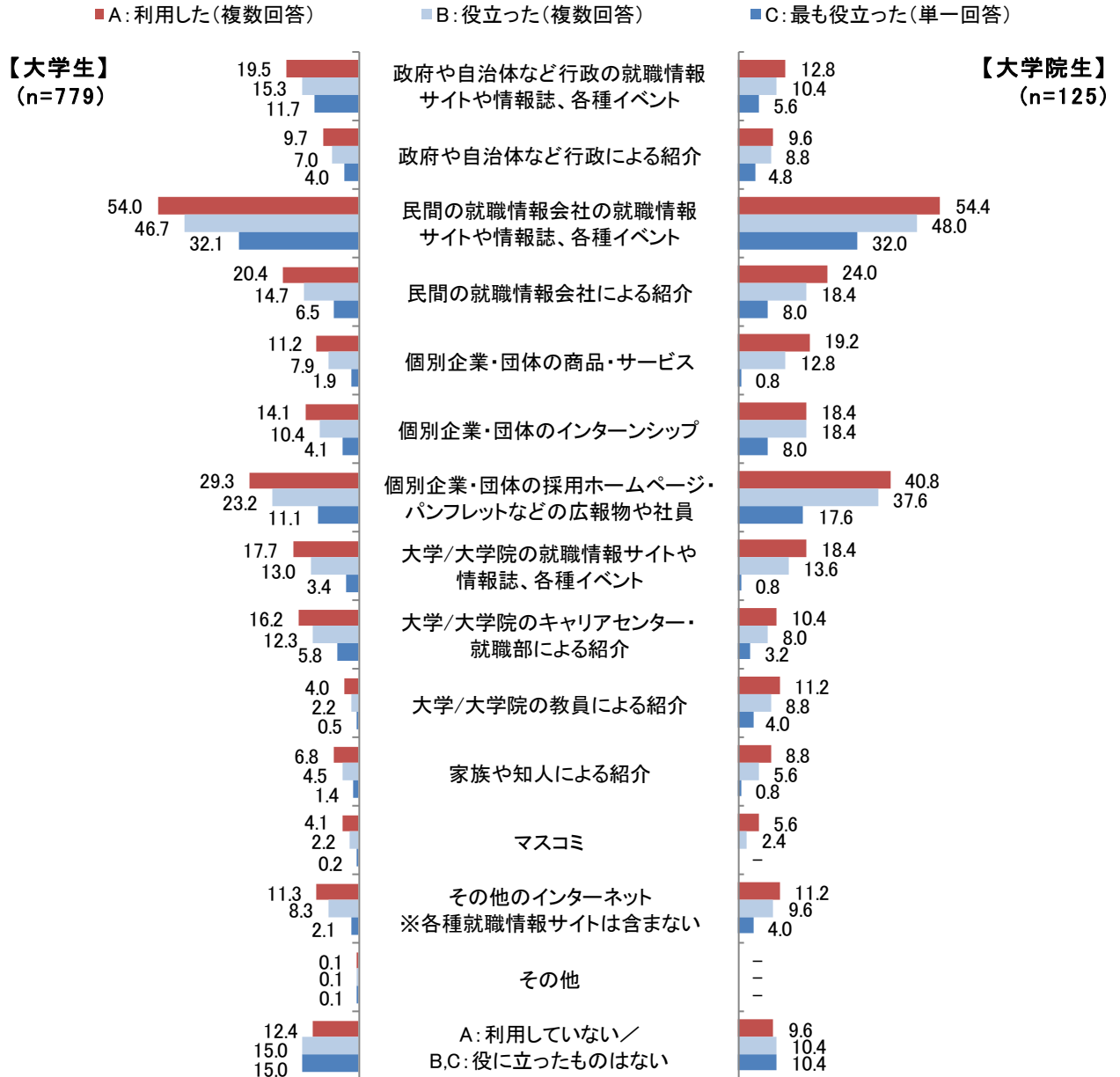
就職予定先の最初の認知経路は、大学生・大学院生ともに「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」が4割前後で最も高い。属性別にみると、文系大学生で「民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」に集中しているが、理系大学生では「大学/大学院の就職情報サイトや情報誌、各種イベント」からの認知も高い。(図表17)

図表16-1 プレントリー(資料・採用情報の請求)する対象を選ぶ時の情報源(単位=%)



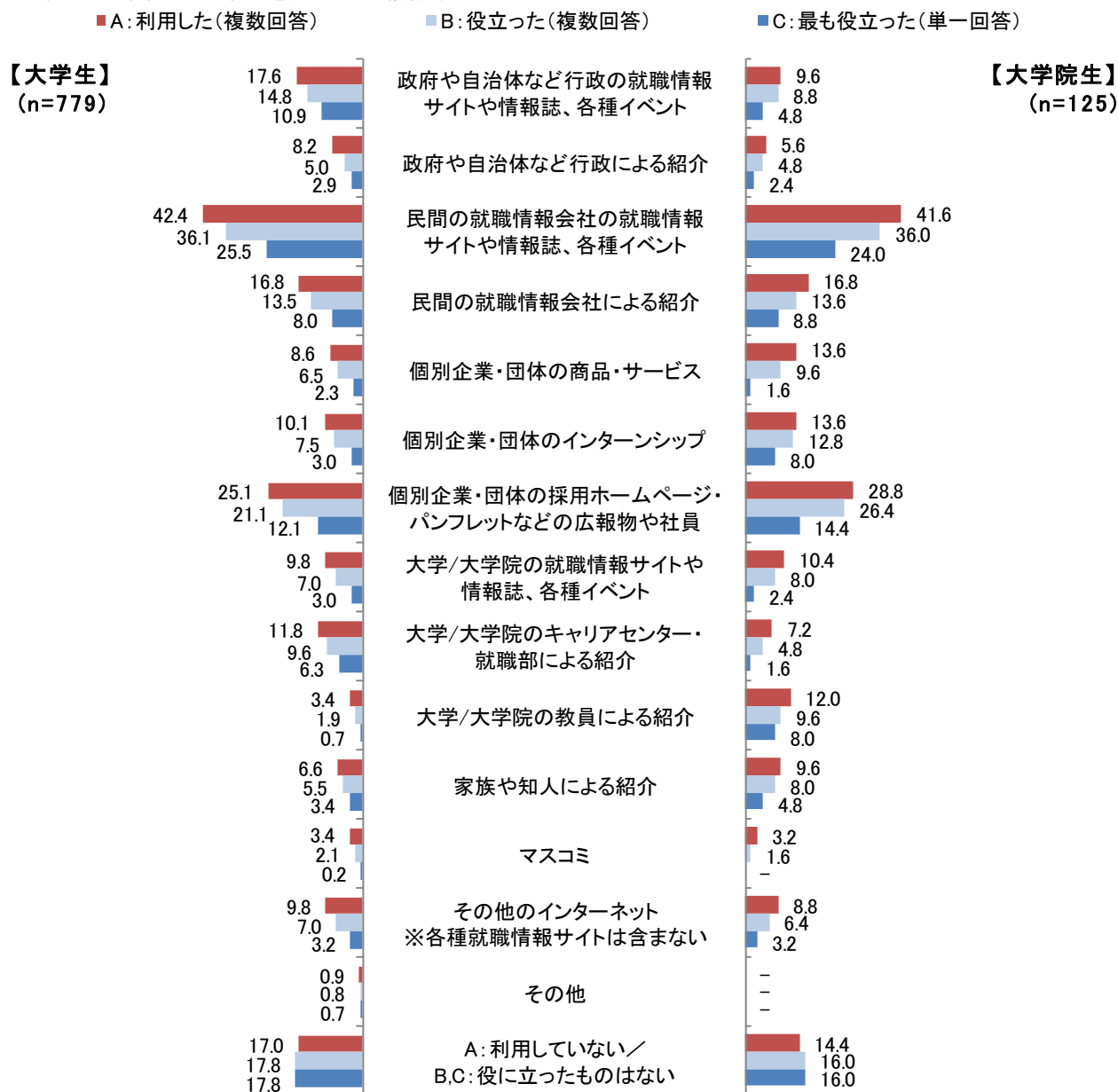
⑦就職予定先に関する情報源

図表16-2 一次選考に応募する対象を選ぶ時の情報源(単位=%)



⑦就職予定先に関する情報源

図表16-3 最終的な就職先を選ぶときの情報源(単位=%)



図表17 就職予定先の最初の認知経路(複数回答、単位=%)

	n=	政府や自治体など行政の就職情報サイトや情報誌、各種イベント	政府や自治体など行政による紹介	民間の就職情報会社の就職情報サイトや情報誌、各種イベント	民間の就職情報会社による紹介	就職予定先企業・団体の商品・サービス	就職予定先企業・団体のインターンシップ	就職予定先企業・団体の採用HP・パンフレットなどの広報物や社員	大学/大学院の就職情報サイトや情報誌、各種イベント	大学/大学院のキャリアセンター・就職部による紹介	大学/大学院の教員による紹介	家族や知人による紹介	マスコミ	その他のインターネット※各種就職情報サイトは含まない	その他	わからない/覚えていない
大学生	679	11.3	4.3	41.6	14.1	6.5	9.6	16.1	19.0	13.6	2.9	10.2	4.3	4.4	2.4	5.1
文系	460	9.3	4.6	40.9	15.8	6.4	8.9	14.4	15.8	13.3	2.5	10.1	5.0	3.7	2.7	6.6
国公立	97	11.2	5.4	44.9	13.5	7.1	12.2	16.0	21.3	11.6	3.3	15.0	4.5	3.8	1.7	8.7
私立	364	8.8	4.4	39.8	16.4	6.3	8.0	14.0	14.4	13.7	2.3	8.9	5.1	3.7	3.0	6.0
理系	218	15.6	3.7	43.0	10.5	6.5	11.1	19.6	25.6	14.2	3.7	10.3	2.8	5.7	1.7	2.0
国公立	22	17.0	-	37.2	22.8	8.5	17.0	25.8	19.9	19.9	11.4	20.0	8.5	8.5	-	8.5
私立	197	15.4	4.1	43.7	9.1	6.3	10.4	19.0	26.3	13.6	2.9	9.2	2.2	5.4	1.9	1.3
大学院生	112	4.5	2.7	38.4	20.5	12.5	5.4	10.7	21.4	9.8	14.3	17.0	10.7	6.3	-	3.6

* 属性ごとに選択率が最も多い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

(回答者数が30未満のスコアを除く) * 回答者数が30未満はグレーの文字色にした。

⑧就職予定先を選ぶ際の重視点

就職確定者が就職予定先を選ぶ際の重視点は、大学生、大学院生ともに「業種」がトップ。大学院生で「専攻などの経験」「給与水準」、その他地域の大学生で「勤務地」を重視。

就職確定者が就職予定先を選ぶ際の重視点は、大学生・大学院生ともに「業種」が最も高い。大学院生は大学生と比べて、「大学院の専攻やこれまでの経験・取得資格を活かせるか」「給与水準」「勤務地」などの割合が高い。

属性別にみると、理系大学生で「大学の専攻やこれまでの経験・取得資格を活かせるか」、その他地域の大学生で「勤務地」を重視する傾向が強い。(図表18-1)

図表18-1 就職確定者の就職予定先を選ぶときの重視点(複数回答、単位=%)

	大学生 (n=)	文系			理系	国公立		関東	中部	近畿	その他	大学院生	
		(679)	(460)	国公立 (97)		私立 (364)	国公立 (22)						私立 (197)
業種		78.8	76.9	69.9	78.8	82.6	80.1	82.9	79.7	76.6	78.4	78.1	75.9
職制(コース)※1		42.0	44.5	41.6	45.3	36.7	51.4	35.1	43.6	45.0	49.6	20.2	43.8
職種※2		52.1	51.5	54.0	50.9	53.3	79.8	50.3	50.3	56.2	60.7	41.4	55.4
勤務地		59.3	58.3	58.5	58.2	61.5	54.5	62.3	56.0	64.1	60.0	66.0	68.8
雇用形態		37.9	39.8	38.1	40.3	33.9	37.2	33.5	34.0	44.3	44.7	35.5	34.8
民間企業・団体か、 それ以外(公務員・教員など)か		19.9	20.8	15.7	22.1	17.9	19.9	17.7	20.3	19.1	21.3	16.6	18.8
外資企業・団体か 内資企業・団体か※3		8.6	6.7	6.7	6.7	12.5	28.4	10.7	10.0	3.4	8.5	9.2	11.6
大学・大学院の専攻やこれまでの 経験・取得資格を活かせるか		17.0	10.8	9.6	11.1	30.3	51.6	27.9	18.5	10.8	14.1	23.1	42.0
従業員規模		14.9	13.9	13.7	14.0	17.1	14.4	17.4	14.8	16.9	16.2	11.4	17.0
知名度		23.4	24.6	18.8	26.2	20.8	20.0	20.9	23.9	26.5	21.6	20.3	25.0
経営理念・ビジョン		26.5	28.5	17.7	31.3	22.2	34.4	20.9	29.2	26.4	23.5	19.9	34.8
事業の安定性・将来性		40.3	42.8	43.9	42.5	35.1	43.1	34.2	42.2	37.9	39.1	37.1	48.2
給与水準		44.6	44.9	42.4	45.5	43.9	51.6	43.0	45.4	48.7	39.6	43.7	55.4
勤務時間・休暇		50.3	50.8	45.6	52.2	49.1	51.6	48.8	46.0	56.9	53.3	54.9	49.1
組織風土・職場の人間関係		34.1	32.6	33.4	32.4	37.1	68.6	33.6	37.9	26.6	30.4	33.5	36.6
内定取得の可能性		23.4	24.5	22.6	25.0	21.1	45.7	18.3	20.9	24.7	26.9	26.5	25.9
就職活動の負荷・手間※4		12.3	11.0	13.0	10.5	15.1	14.4	15.1	12.0	12.5	11.2	15.1	13.4
その他		0.1	0.2	0.5	0.1	-	-	-	0.3	-	-	-	-

※1: 例) 総合職、一般職、地域・職域限定職など

※2: 例) 営業職、企画職、事務職、技術職など

※3: 外資＝日本国外に本社がある企業・団体、内資＝日本国内に本社がある企業・団体

※4: 説明会の位置づけ(参加が必須かどうか)、提出書類の数や内容、内定までの選考の種類や回数、時間など

* 属性ごとに選択率が最も多い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

(回答者数が30未満のスコアを除く) * 回答者数が30未満はグレーの文字色にした。

⑧就職予定先を選ぶ際の重視点

就職確定者が就職予定先を選ぶ際の最重視点は、大学生は「業種」「勤務地」を合わせると4割半ばを占める。一方、大学院生は「勤務地」が2割で最も高いが、それ以外は「業種」「職種」「給与水準」が1割台で分散している。

属性別にみると、その他地域の大学生は「業種」と「勤務地」の割合が拮抗している。
(図表18-2)

図表18-2 就職確定者の就職予定先を選ぶときの最重視点(単一回答、単位=%)

	大学生 (n=)	文系			理系	国公立		関東	中部	近畿	その他	大学院生 (112)
		(460)	国立	私立		(22)	(197)					
業種	28.7	25.9	24.7	26.2	34.7	22.8	36.0	33.3	20.6	24.8	25.9	13.4
職制(コース)※1	3.6	3.9	3.8	4.0	2.8	-	3.2	3.0	5.7	4.5	1.9	5.4
職種※2	9.5	10.3	8.7	10.7	8.0	25.5	6.0	10.2	11.3	8.0	6.9	11.6
勤務地	15.1	15.8	14.5	16.2	13.7	5.8	14.6	11.7	17.3	17.1	23.4	20.5
雇用形態	1.9	2.3	3.9	1.9	1.1	-	1.3	2.0	2.6	1.9	1.1	1.8
民間企業・団体か、 それ以外(公務員・教員など)か	1.5	1.6	3.2	1.2	1.1	-	1.3	1.1	2.4	2.8	-	-
外資企業・団体か 内資企業・団体か※3	0.1	0.1	-	0.1	-	-	-	-	-	0.4	-	-
大学・大学院の専攻やこれまでの 経験・取得資格を活かせるか	2.6	1.6	1.0	1.7	4.6	22.9	2.6	1.6	2.0	5.2	3.1	8.0
従業員規模	0.2	0.2	-	0.3	0.3	-	0.3	-	1.0	-	0.5	0.9
知名度	1.8	2.1	1.4	2.3	1.1	-	1.3	1.3	3.7	1.8	1.5	-
経営理念・ビジョン	3.3	3.5	1.5	4.0	2.8	-	3.2	4.6	3.2	1.2	1.1	2.7
事業の安定性・将来性	5.7	7.0	5.3	7.4	3.1	-	3.5	7.0	3.3	4.5	5.6	8.9
給与水準	5.4	5.1	5.2	5.1	6.0	8.5	5.7	3.7	9.3	4.4	9.0	11.6
勤務時間・休暇	8.2	9.2	13.2	8.1	6.3	-	7.0	7.5	7.0	14.4	3.2	5.4
組織風土・職場の人間関係	9.8	9.3	9.7	9.2	10.9	14.4	10.5	10.4	9.5	7.5	11.3	8.9
内定取得の可能性	1.3	1.2	1.7	1.0	1.7	-	1.9	0.8	1.1	0.7	4.8	0.9
就職活動の負荷・手間※4	1.1	0.9	2.3	0.5	1.7	-	1.9	1.7	-	0.9	0.5	-
その他	0.1	0.1	-	0.1	-	-	-	0.1	-	-	-	-

※1: 例) 総合職、一般職、地域・職域限定職など

※2: 例) 営業職、企画職、事務職、技術職など

※3: 外資＝日本国外に本社がある企業・団体、内資＝日本国内に本社がある企業・団体

※4: 説明会の位置づけ(参加が必須かどうか)、提出書類の数や内容、内定までの選考の種類や回数、時間など

* 属性ごとに選択率が最も多い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

(回答者数が30未満のスコアを除く) * 回答者数が30未満はグレーの文字色にした。

⑨在学中に実施したこと

**在学中に実施した活動は、大学生で「アルバイト」、大学院生で「修論」が最も高い。
前年から、国公立大学の大学生で「ゼミでの活動」「授業への出席」などが減少。**

在学中に実施していた活動は、大学生は「アルバイト」、大学院生は「修論」が最も高い。属性別にみると、文系大学生で「海外留学」「サークル活動」「英語などの外国語学習」、理系大学生で「ゼミや研究室での活動」「卒論、卒業研究」などの割合が高い。

2017年調査と比べると、国公立大学の文系大学生で「ゼミや研究室での活動」「授業への出席」「卒論、卒業研究」などの活動率が減少している。(図表19)

図表19 在学中に実施した活動(複数回答、単位=%)

	大学生	文系			理系	国公立		関東	中部	近畿	その他	大学院生
	(n=)	(523)	国公立	私立		(25)	(231)					
海外留学	12.6 (2.5)	16.0 (4.2)	19.5 (7.2)	15.0 (3.4)	5.8 (-1.1)	17.4 (11.6)	4.6 (-2.9)	14.7 (4.2)	9.5 (-1.6)	11.2 (0.6)	10.2 (1.3)	13.6 (1.0)
サークル活動	38.2 (-0.2)	41.4 (2.4)	34.2 (-12.9)	43.3 (6.3)	31.7 (-5.7)	44.9 (2.6)	30.2 (-4.8)	42.1 (-1.6)	38.5 (4.9)	30.2 (-1.5)	34.9 (-4.1)	48.0 (7.5)
部活動	16.4 (-2.9)	15.7 (-2.4)	18.2 (-9.0)	15.1 (-0.8)	17.7 (-3.8)	22.6 (-4.4)	17.2 (-1.7)	15.4 (0.3)	15.5 (2.5)	17.4 (-9.1)	19.9 (-1.8)	20.0 (4.7)
ボランティア	20.2 (-2.5)	19.8 (-4.7)	27.3 (-2.3)	17.8 (-5.4)	21.1 (2.0)	27.5 (13.6)	20.5 (-1.1)	18.1 (-0.1)	22.7 (-8.6)	15.0 (-3.4)	35.3 (5.8)	22.4 (11.6)
アルバイト	74.8 (-7.9)	76.2 (-7.5)	71.7 (-14.8)	77.3 (-5.6)	72.1 (-8.6)	90.0 (8.3)	70.2 (-10.1)	74.6 (-8.2)	78.0 (-7.7)	75.3 (-10.8)	70.9 (-7.1)	81.6 (0.5)
インターンシップ	39.4 (1.0)	38.7 (0.9)	36.0 (-5.6)	39.4 (2.5)	40.9 (1.4)	62.4 (19.2)	38.5 (0.8)	39.9 (-0.9)	39.4 (-1.6)	38.0 (7.9)	40.0 (-1.1)	41.6 (-1.6)
公務員・教員採用試験のための 教育・学習活動	14.4 (2.5)	14.6 (1.9)	11.6 (-11.1)	15.3 (5.2)	14.1 (3.8)	17.4 (3.5)	13.7 (5.1)	14.3 (2.2)	15.7 (1.8)	11.4 (1.9)	18.5 (5.8)	18.4 (7.6)
英語などの外国語学習	15.4 (-0.2)	18.4 (-0.8)	19.9 (-1.3)	18.0 (-0.7)	9.2 (1.0)	15.1 (3.5)	8.6 (2.0)	15.2 (-2.4)	15.0 (2.8)	18.1 (3.1)	11.9 (-2.7)	20.8 (-9.8)
趣味など、自分の興味がある 分野の活動	41.9 (-2.5)	42.5 (-0.8)	34.6 (-19.6)	44.5 (3.9)	40.6 (-6.0)	55.1 (13.3)	39.1 (-9.8)	42.2 (-2.6)	41.7 (-1.9)	36.4 (-6.9)	50.4 (5.1)	49.6 (-0.9)
スポーツ関連の活動	12.3 (1.8)	11.4 (3.4)	12.9 (4.1)	11.0 (3.2)	14.1 (-1.4)	20.0 (5.0)	13.4 (-2.3)	13.9 (5.8)	9.1 (-1.8)	12.1 (0.0)	9.5 (-2.8)	14.4 (6.3)
資格取得・検定受験のための 学習活動	34.0 (-0.8)	34.5 (-2.6)	37.7 (-0.7)	33.6 (-3.1)	33.1 (2.9)	27.7 (2.2)	33.7 (1.2)	30.3 (-1.9)	38.3 (1.4)	39.7 (1.9)	34.9 (-0.3)	32.0 (6.8)
ゼミや研究室での活動	61.3 (-2.9)	57.4 (-3.9)	50.9 (-23.9)	59.0 (1.1)	69.3 (-0.8)	97.5 (23.1)	66.3 (-1.8)	62.8 (0.9)	72.2 (9.2)	54.3 (-14.9)	52.6 (-10.8)	78.4 (0.9)
授業への出席	66.4 (-7.4)	64.8 (-8.0)	54.1 (-25.4)	67.5 (-3.5)	69.8 (-6.3)	87.4 (5.8)	67.9 (-5.7)	66.8 (-6.4)	73.4 (-0.9)	61.0 (-13.1)	65.6 (-9.0)	76.8 (-1.6)
卒論、卒業研究、修論	60.2 (-4.5)	52.5 (-6.6)	49.9 (-20.4)	53.1 (-3.1)	76.1 (-0.1)	97.5 (18.4)	73.8 (-1.1)	59.6 (-0.9)	66.2 (-5.1)	58.7 (-5.4)	57.9 (-10.6)	90.4 (3.9)
あてはまるものはない	3.4 (1.1)	3.4 (1.2)	2.4 (-0.8)	3.7 (1.7)	3.4 (1.0)	- (-1.9)	3.8 (1.2)	4.4 (2.7)	3.3 (-0.2)	2.0 (0.1)	1.7 (-1.2)	1.6 (-0.2)

* カッコ内は2017年とのスコア差を掲載。* 属性ごとに最も多い区分を赤太字にした。

* 2017年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けした。

(回答者数が30未満のスコアを除く) * 回答者数が30未満はグレーの文字色にした。

⑩就職活動による各活動への支障状況

就職活動による各活動への支障状況(*)は、大学生で「アルバイト」、大学院生で「ゼミや研究室での活動」が最も高い。前年から、大学生で「部活動」への支障度が改善。

就職活動による各活動への支障状況(*)は、大学生では「アルバイト」が最も高く、「趣味など、自分の興味がある分野の活動」「公務員・教員採用試験のための教育・学習活動」などが続く。2017年調査と比べると、「部活動」で支障が生じた割合が減少している。

大学院生では「ゼミや研究室での活動」「修論」で4～5割に支障が生じているものの、2017年調査から、支障が大きく増えた活動はみられない。(図表20)

*「支障が生じた」「やや支障が生じた」の回答者を合計

図表20 各活動実施者の就職活動による活動への支障状況(複数回答、単位=%)

	大学生			大学院生	▼回答者数(単位=人)			
	文系	理系			大学生	文系	理系	大学院生
履修登録	22.3 (4.5)	26.4 (6.1)	13.8 (1.2)	14.4 (5.4)	779	523	256	125
単位取得のための課題・試験	29.0 (3.5)	32.0 (4.5)	22.9 (1.5)	21.6 (2.7)	779	523	256	125
海外留学	33.3 (9.6)	36.3 (10.3)	16.8 (0.8)	29.4 (15.1)	98	84	15	17
サークル活動	27.0 (3.2)	26.1 (2.0)	29.2 (6.0)	16.7 (7.8)	298	217	81	60
部活動	38.6 (-11.9)	40.3 (-13.7)	35.7 (-8.8)	28.0 (16.2)	128	82	45	25
ボランティア	26.7 (4.1)	26.8 (3.9)	26.4 (4.6)	25.0 (8.3)	157	103	54	28
アルバイト	54.6 (0.7)	58.5 (4.4)	46.0 (-7.3)	42.2 (-2.3)	583	399	184	102
インターンシップ	15.3 (0.1)	17.6 (4.0)	10.7 (-7.3)	9.6 (-5.0)	307	203	104	52
公務員・教員採用試験のための教育・学習活動	50.3 (1.8)	53.7 (3.5)	43.1 (-1.0)	43.5 (-6.5)	112	76	36	23
英語などの外国語学習	43.2 (6.3)	35.8 (-0.6)	73.6 (33.7)	26.9 (-2.5)	120	96	24	26
趣味など、自分の興味がある分野の活動	52.7 (4.1)	50.8 (0.6)	56.9 (11.0)	41.9 (-17.0)	326	222	104	62
スポーツ関連の活動	36.9 (0.5)	34.1 (-9.5)	41.4 (12.8)	55.6 (-11.1)	96	60	36	18
資格取得・検定受験のための学習活動	31.3 (5.5)	31.9 (9.3)	30.2 (-3.8)	25.0 (-7.1)	265	180	85	40
ゼミや研究室での活動	36.7 (-5.1)	37.4 (-0.7)	35.4 (-13.0)	56.1 (-7.8)	477	300	177	98
授業への出席	38.9 (2.9)	43.5 (4.1)	30.3 (0.8)	17.7 (-1.8)	518	339	179	96
卒論、卒業研究、修論	38.3 (0.0)	35.9 (0.4)	41.5 (-1.0)	46.9 (-7.3)	469	275	195	113

※支障が生じた・計:「支障が生じた」+「やや支障が生じた」

*カッコ内は2017年とのスコア差を掲載。*属性ごとに最も多い区分を**赤太字**にした。

*2017年とのスコア差が10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、10ポイント以上低いセルを濃い青色■で網掛けにした。

(回答者数が30未満のスコアを除く) *回答者数が30未満はグレーの文字色にした。

⑪勤務地の志向

大学生の志望勤務地は、都市部(首都圏・非首都圏)派が5割半ばで前年より増加したが、地方派は1割半ばで前年より減少。就職予定先を選ぶ際の重視点は、すべてのクラスターで「業種」がトップで、こだわらない派でその傾向が強い。

大学生の就職先勤務地の志望をもとにクラスター分析を実施し、回答者のグルーピングを行った。クラスターの構成比は、「都市部・首都圏派」が4割強で最も高く、「こだわらない派」が2割、「都市部・非首都圏派」「地方派」が1割半ばとなっている。2017年調査と比べると、「都市部」の割合が増加し、「地方派」の割合が減少している。(図表21)

各クラスター別の特徴は、都市部・首都圏派は、「関東」居住者が多く、全員が「首都圏で就職したい」と回答している。こだわらない派は、居住地の特徴はみられないが、「海外勤務できる企業に就職したい」が4割台半ば、他のクラスターよりも高い。都市部・非首都圏派は「近畿」、地方派は「中部」の居住者が多い。(図表22、図表23)

クラスター分析の実施概要

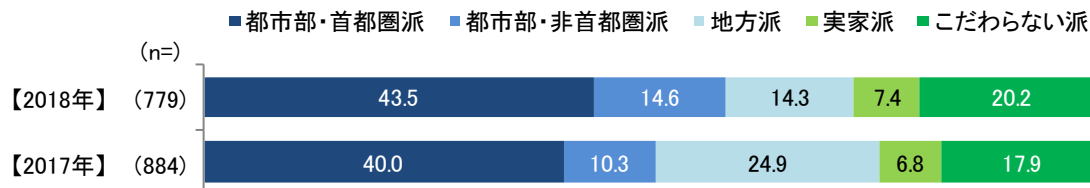
クラスター分析とは、多変量解析の一手法で、ある特定の集団を統計的な基準に基づき、互いに似た者同士のグルーピング(クラスタリング)を行い、集団を分類する手法。

右記の調査結果をもとに、非階層クラスター分析(k-means法)を実施し、回答者をクラスタリング。

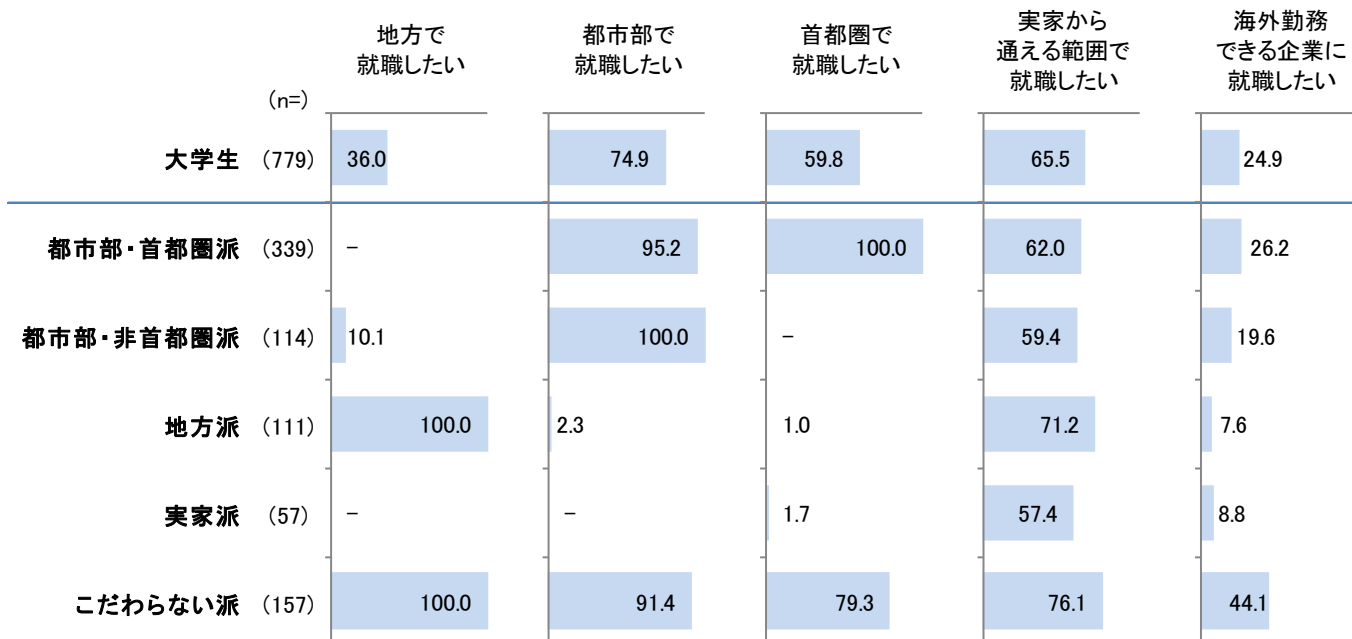
Q. 就職活動を実施した当初の、志望する就職先勤務地についてあなたの考えに近いものをご回答ください。

	1	2	3	4
	あてはまる	あどち はら まか ると いう と	あど ち はら まか ら な い と	あ て は ま ら な い
1. 地方で就職したい →	○	○	○	○
2. 都市部で就職したい →	○	○	○	○
3. 首都圏で就職したい →	○	○	○	○

図表21 大学生のクラスター構成比(単一回答、単位=%)



図表22 クラスター別の就職活動開始当初の志望就職先勤務地(単一回答、単位=%)



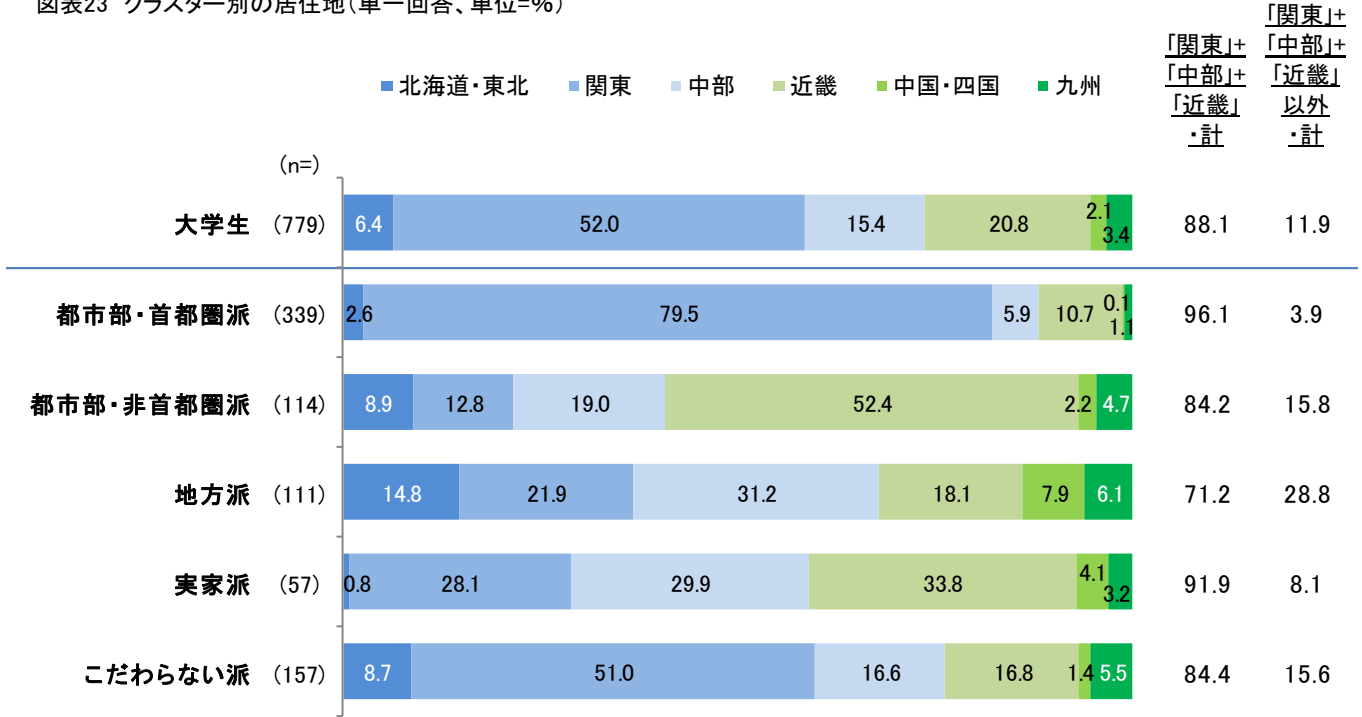
※あてはまる・計:「あてはまる」+「どちらかというにあてはまる」

⑪勤務地の志向

クラスター別の就職予定先への満足・計(*)は、都市部・首都圏派、地方派、こだわらない派が9割に対し、実家派が8割強と、満足度に関きがみられる。特に、実家派は「満足している」が4割と高い一方で、「どちらかといえば満足していない」「満足していない」を合わせると1割台後半と、ほかのクラスターよりもその割合が高い。(図表24)

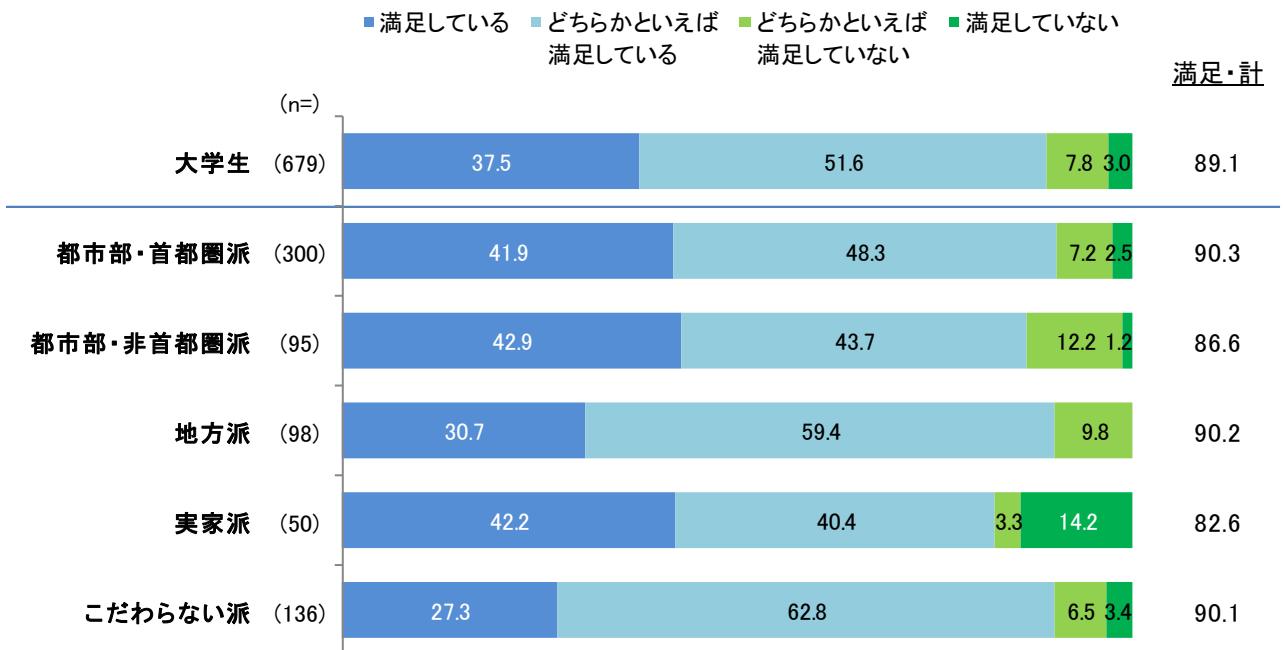
*「満足している」「どちらかといえば満足している」の回答者を合計

図表23 クラスター別の居住地(単一回答、単位=%)



図表24 クラスター別の就職予定先への満足度状況(単一回答、単位=%)

※就職確定者ベースに限定して聴取。



※満足・計:「満足している」+「どちらかといえば満足している」

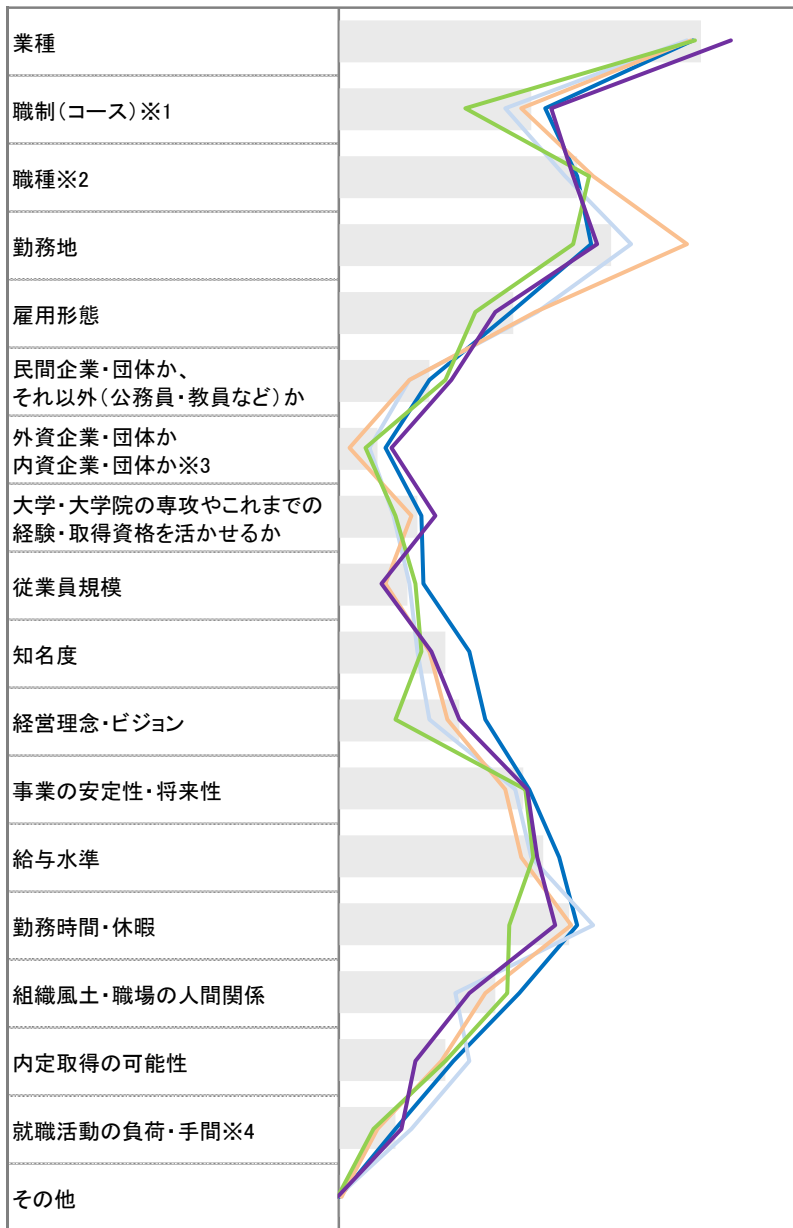
⑪勤務地の志向

クラスター別の就職予定先を選ぶ際の重視点は、すべてのクラスターで「業種」が最も高く、こだわらない派で、その傾向が強い。

都市部・首都圏派で「知名度」「経営理念・ビジョン」「組織風土・職場の人間関係」、地方派で「勤務地」「雇用形態」の重視度が比較的高い。(図表25-1)

図表25-1 クラスター別の就職予定先を選ぶときの重視点(複数回答、単位=%)
※就職確定者ベースに限定して聴取。

大学生 都市部・首都圏派 都市部・非首都圏派
地方派 実家派 こだわらない派



大学生 (n=679)	都市部・ 首都圏 派 (n=300)	都市部・ 非首都 圏派 (n=95)	地方派 (n=98)	実家派 (n=50)	こだわ らない派 (n=136)
78.8	77.4	76.0	76.7	77.7	85.7
42.0	45.0	36.5	39.6	27.7	46.1
52.1	51.9	49.5	55.5	54.6	50.9
59.3	55.2	63.6	76.0	51.1	56.4
37.9	37.6	43.3	43.1	29.7	34.1
19.9	19.9	15.4	15.5	23.4	24.8
8.6	10.3	6.6	2.3	6.0	11.5
17.0	17.9	12.0	15.8	12.6	21.3
14.9	18.6	15.7	10.2	16.6	9.2
23.4	28.7	17.4	19.9	18.1	20.4
26.5	31.9	19.6	23.9	12.5	26.1
40.3	41.7	38.4	36.4	40.6	41.1
44.6	47.9	41.9	39.8	42.5	43.2
50.3	51.9	55.5	50.8	37.4	47.4
34.1	39.5	25.5	32.0	36.7	28.6
23.4	25.0	28.5	22.6	23.5	16.7
12.3	12.6	15.9	8.3	7.5	13.8
0.1	0.2	-	0.5	-	-

※1: 例) 総合職、一般職、地域・職域限定職など

※2: 例) 営業職、企画職、事務職、技術職など

※3: 外資＝日本国外に本社がある企業・団体、内資＝日本国内に本社がある企業・団体

※4: 説明会の位置づけ(参加が必須かどうか)、提出書類の数や内容、内定までの選考の種類や回数、時間など

* 属性ごとに最も多い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

⑪勤務地の志向

クラスター別の就職予定先を選ぶ際の最重視点は、地方派は「勤務地」、それ以外のクラスターは「業種」が最も高い。また、実家派で「組織風土・職場の人間関係」の重視度が高い。(図表25-2)

図表25-2 クラスター別の就職予定先を選ぶときの最重視点(単一回答、単位=%)
※就職確定者ベースに限定して聴取。



※1: 例) 総合職、一般職、地域・職域限定職など

※2: 例) 営業職、企画職、事務職、技術職など

※3: 外資＝日本国外に本社がある企業・団体、内資＝日本国内に本社がある企業・団体

※4: 説明会の位置づけ(参加が必須かどうか)、提出書類の数や内容、内定までの選考の種類や回数、時間など

* 属性ごとに最も多い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

⑫従業員規模の志向

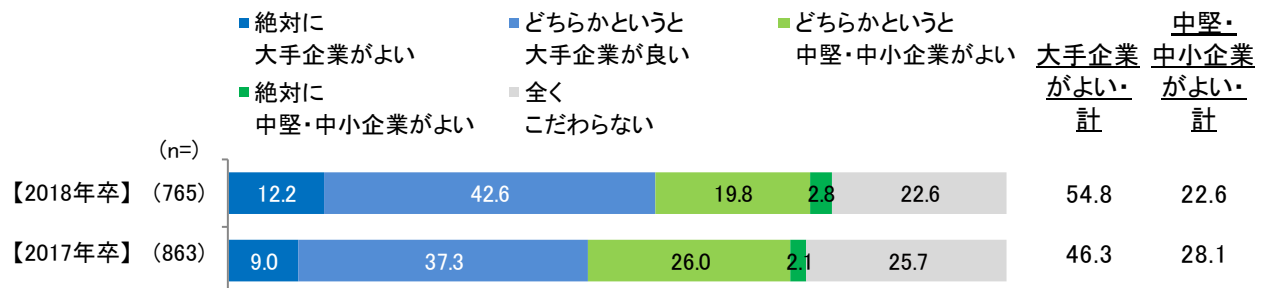
大学生の志望従業員規模は、5割半ばが「大手派」。特に大学生理系、大学院生で、大手志向が強い。

就職活動の開始当初に志望した従業員規模は、大学生で5割半ばが大手企業がよい・計(*)となっており、2017年調査と比べ大手志向が強くなっている。中堅・中小企業がよい・計は2割強で前年より減少している。

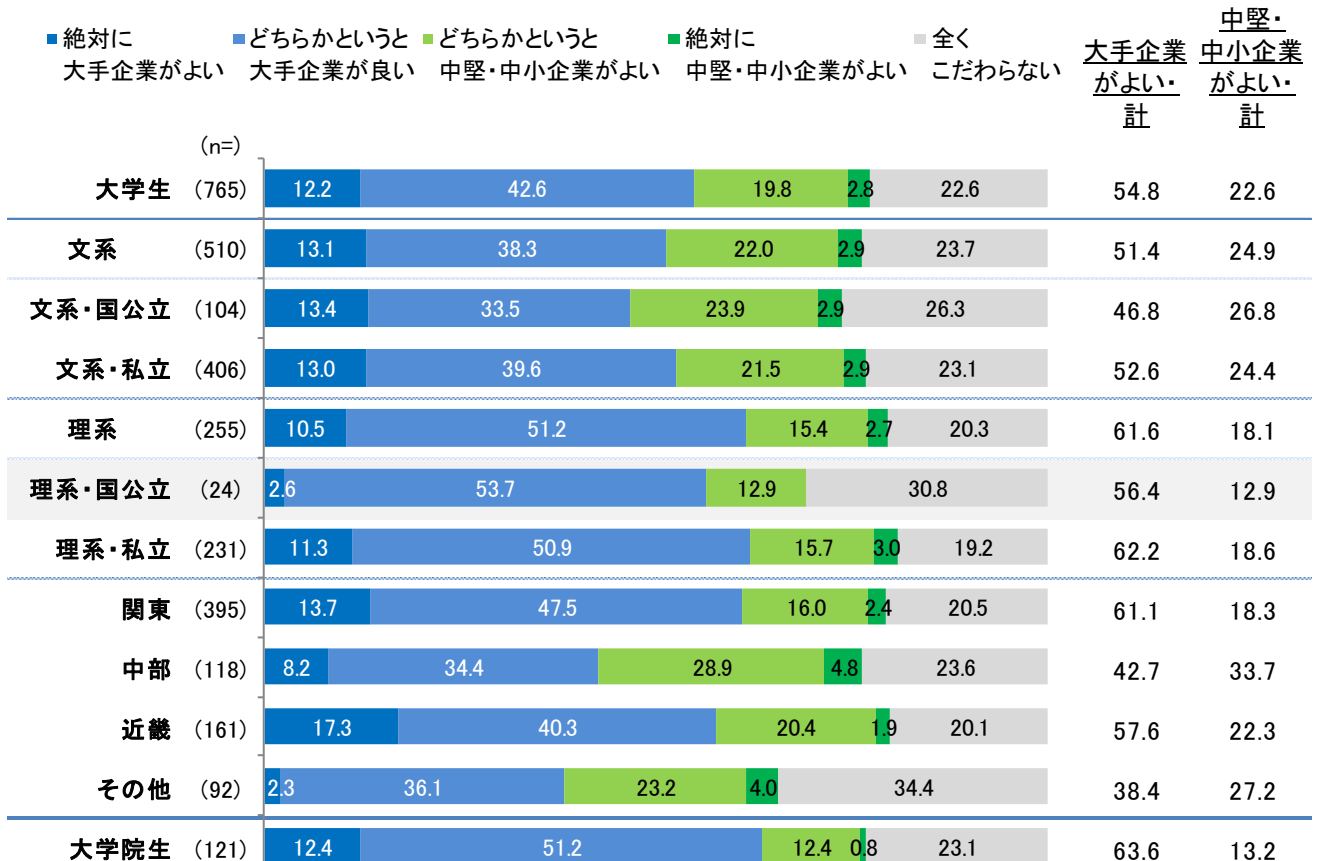
属性別にみると、理系大学生、関東地域の大学生で大手企業がよい・計が高い一方、その他地域の大学生は「全くこだわらない」が3割を超えている。(図表26-2)

*「絶対に大手企業がよい」「どちらかという大手企業がよい」の回答者を合計

図表26-1 大学生の就職活動開始当初の志望従業員規模(単一回答、単位=%)
※企業就職志望者ベース



図表26-2 就職活動開始当初の志望従業員規模(単一回答、単位=%)
※企業就職志望者ベース



* 回答者数が30未満はグレーの網掛けにした。

⑫従業員規模の志向

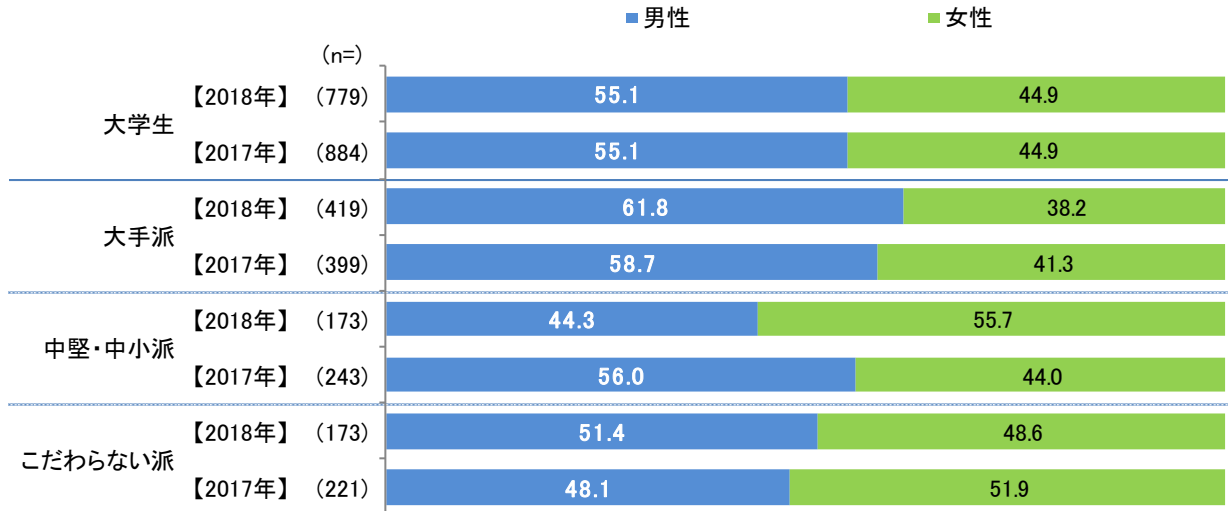
志望従業員規模別の属性は、大手派で「男性」「関東」居住者の割合が高い。(図表27、28)

志望従業員規模別の就職予定先の満足度は、すべての属性で約9割が満足・計(*)と回答しているが、大手派は「満足している」が4割台と高い。(図表28)

*「満足している」「どちらかといえば満足している」の回答者を合計

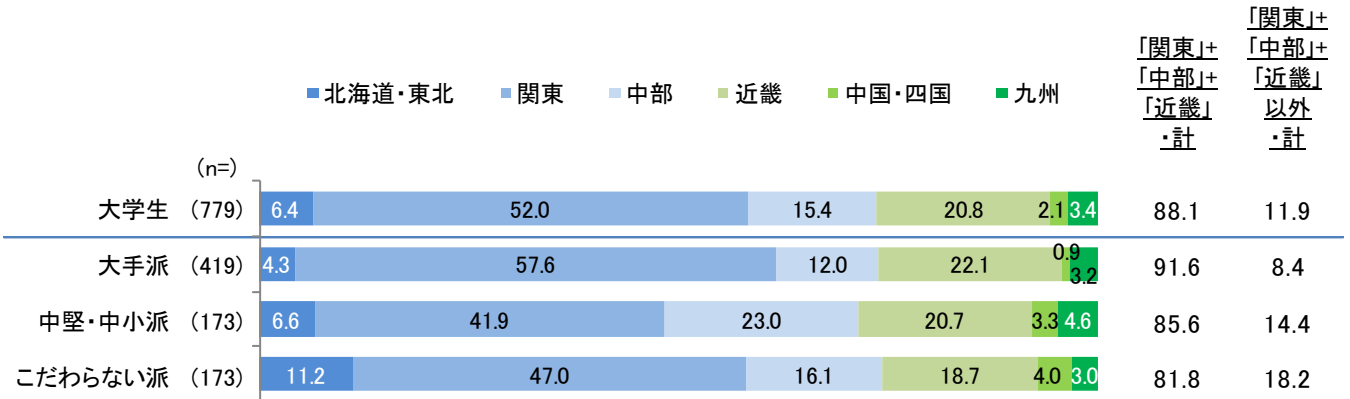
図表27 志望従業員規模別の性別(単一回答、単位=%)

※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。



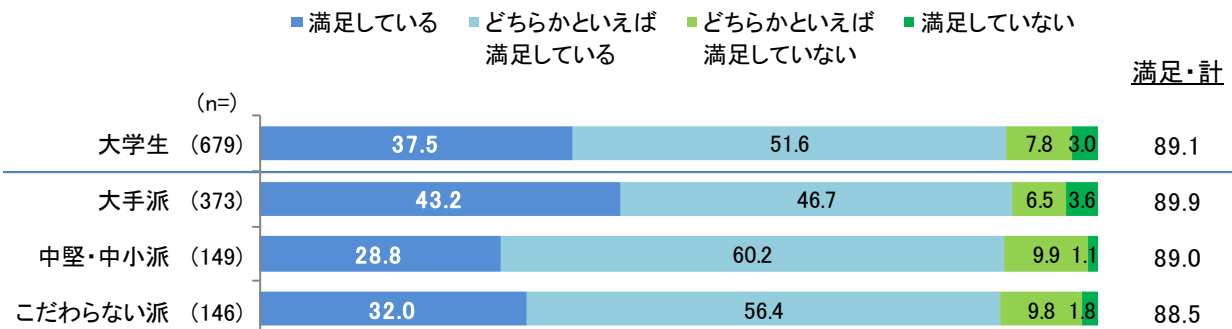
図表28 志望従業員規模別の居住地(単一回答、単位=%)

※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。



図表29 志望従業員規模別の就職予定先の満足度状況(単一回答、単位=%)

※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。



※満足+計:「満足している」+「どちらかといえば満足している」

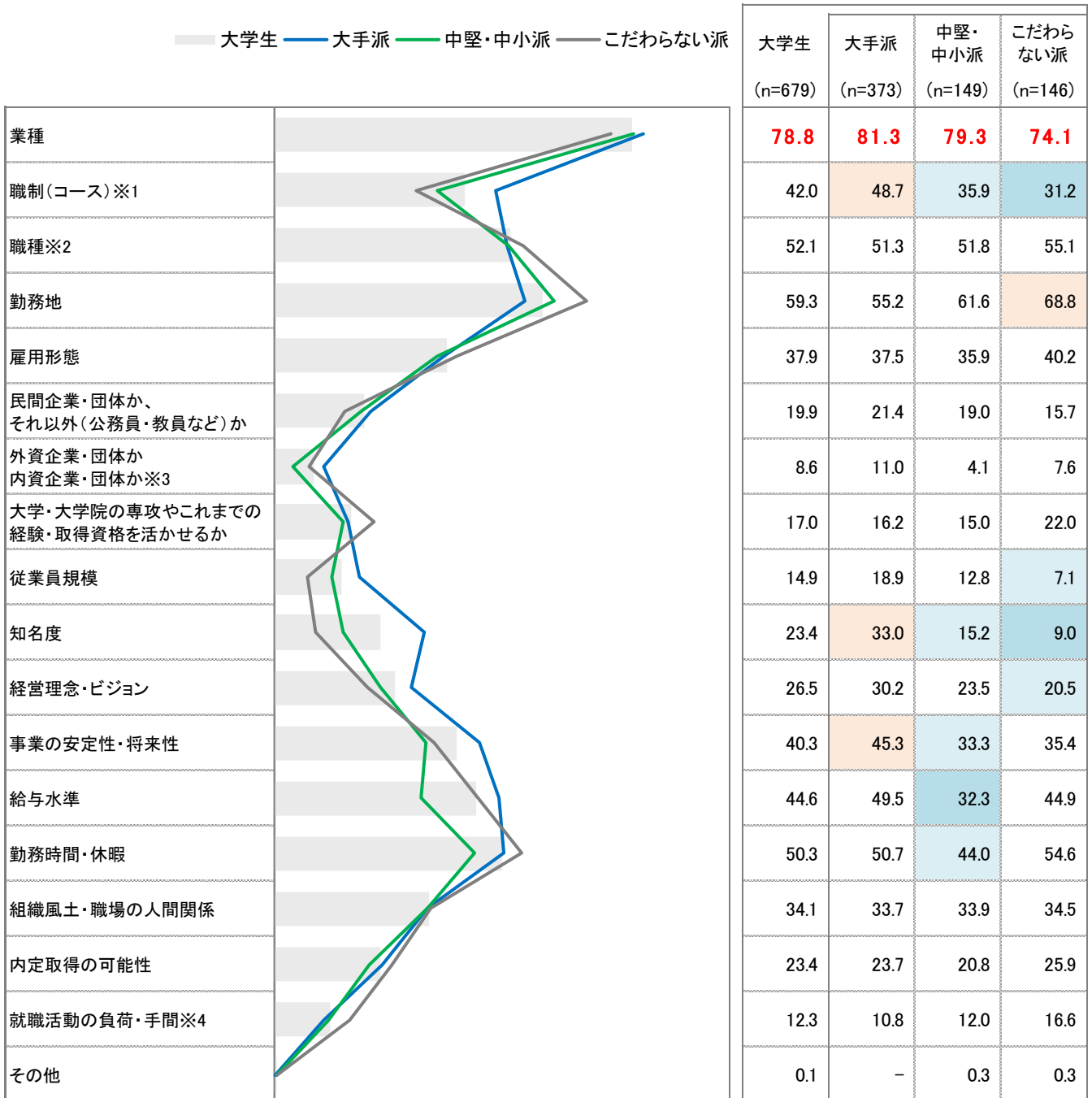
⑫従業員規模の志向

志望従業員規模別の就職予定先を選ぶ際の重視点は、すべての属性で「業種」が最も高い。

大手派で「職制(コース)」「知名度」「事業の安定性・将来性」、こだわらない派で「勤務地」を重視する傾向が強い。(図表30-1)

図表30-1 志望従業員規模別の就職予定先を選ぶときの重視点(複数回答、単位=%)

※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。



※1: 例) 総合職、一般職、地域・職域限定職など

※2: 例) 営業職、企画職、事務職、技術職など

※3: 外資＝日本国外に本社がある企業・団体、内資＝日本国内に本社がある企業・団体

※4: 説明会の位置づけ(参加が必須かどうか)、提出書類の数や内容、内定までの選考の種類や回数、時間など

* 属性ごとに選択率が最も多い区分を赤太字にした。

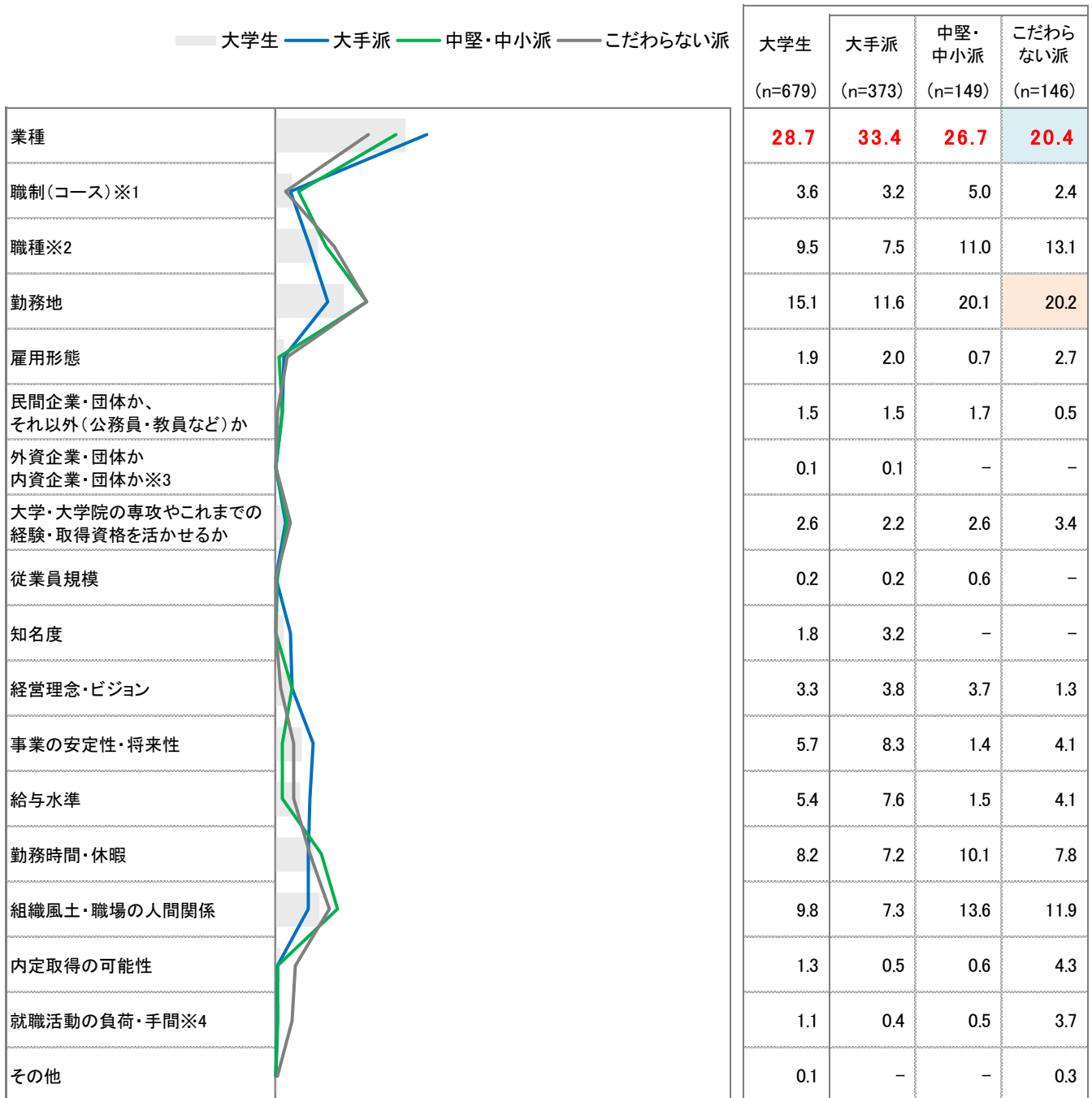
* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

⑫従業員規模の志向

志望従業員規模別の就職予定先を選ぶ際の最重視点は、すべての属性で「業種」が最も高く、「勤務地」が続く。こだわらない派では、「業種」と「勤務地」の割合が拮抗している。(図表30-2)

図表30-2 志望従業員規模別の就職予定先を選ぶときの最重視点(単一回答、単位=%)

※志望従業員規模別の軸は企業就職志望者ベースで作成しているため、大学生全体と回答者数は一致しない。



※1: 例) 総合職、一般職、地域・職域限定職など

※2: 例) 営業職、企画職、事務職、技術職など

※3: 外資＝日本国外に本社がある企業・団体、内資＝日本国内に本社がある企業・団体

※4: 説明会の位置づけ(参加が必須かどうか)、提出書類の数や内容、内定までの選考の種類や回数、時間など

* 属性ごとに選択率が最も多い区分を赤太字にした。

* 大学生全体の値と比べて、10ポイント以上高いセルを濃い橙色■、5ポイント以上10ポイント未満高いセルを薄い橙色□、10ポイント以上低いセルを濃い青色■、5ポイント以上10ポイント未満低いセルを薄い青色□で網掛けした。

●公益社団法人全国求人情報協会とは

公益社団法人全国求人情報協会(理事長:鈴木孝二 略称:全求協)は、1985年2月に設立。全国の有料求人情報誌・フリーペーパー・折込求人紙・求人サイトを運営・発行する68社の会員で構成されており、自主規制のための掲載基準作成、求人情報に関する苦情・相談業務や調査・研究などの活動を実施。会員の年間求人広告件数は1503万件(2017年)にのぼる。

●新卒等若年雇用部会とは

新卒等若年雇用を巡る問題が我が国の労働市場における大きな課題となる中、その課題に取り組むための専門部会として、2013年に「新卒等若年雇用部会」を設置。マッチングの高度化を通じ、よりよい就職・採用がスムーズ行われるよう、とりわけ集团的就職活動特有の課題をまとめ、様々なアクションプラン等を検討、実行している。

●公益社団法人全国求人情報協会 新卒等若年雇用部会 会員企業 (社名五十音順)

株式会社アクセスヒューマネクスト、株式会社アルバイトタイムス、株式会社イフ、株式会社学情、株式会社KG情報、株式会社廣済堂、株式会社ジェイ・ブロード、株式会社ダイヤモンド・ヒューマンリソース、株式会社ディスコ、株式会社文化放送キャリアパートナーズ、株式会社北海道アルバイト情報社、株式会社マイナビ、株式会社リクルートキャリア